令和元年度

事　業　報　告　書

自　平成３１年 ４月　１日

至　令和　２年 ３月３１日

公益財団法人　日本自動車教育振興財団

目　次

〔Ⅰ〕概　要..... 1

〔Ⅱ〕組　織

１．機　構..... 3

２．理事・監事・評議員・最高顧問..... 4

３．会議記録..... 5

４．委員会..... 6
１）委員会の所管事項..... 6
２）委員会委員..... 6
３）委員会・部会　会議実績..... 8

５．自動車教育推進協議会..... 11

〔Ⅲ〕事業活動

１.自動車技術教育支援事業..... 13
１）機材提供活動..... 13
２）教員支援活動..... 15
３）協賛支援活動..... 16
４）交流促進活動..... 16

２.調査研究事業..... 18
１）調査活動..... 18
２）教材作成活動..... 21

３.研修事業..... 22
１）財団研修活動..... 22
２）講師派遣活動..... 23

４.普及啓発事業..... 24
１）普及啓発活動..... 24
２）広域普及啓発活動..... 25

〔Ⅳ〕支援活動

１．自動車技術教育関連イベントへの支援 29

２．研究会及び研究大会への支援 29

〔Ⅴ〕組織運営

１．理事・監事・評議員の異動 30

２．委員会・部会の効率的な運営 30

３．財務・経理の状況 30

〔Ⅵ〕庶務事項

１．事務局体制 31

２．賛助会費・寄附金の状況 31

※ 添付資料

【資料１】令和元年度講師派遣実績 32

【資料２】令和元年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況 42

〔Ⅰ〕令和元年度　事業報告　概要

財団は、社会と自動車のより良い関係を形成するため、高等学校における自動車及び交通に関する教育への支援を行い、我が国の交通社会及び交通文化の健全な発展に寄与すべく、事業活動に取り組んでいる。令和元年度においては、自動車業界における新技術の進歩が目覚ましく、この自動車業界への注目が高まっている機をとらえ、高等学校に対する支援・情報提供の一層の強化を行った。

自動車技術教育（自動車技術に関する教育）については、高等学校における技術教育の維持・向上とさらなる普及を支えるために取り組んだ。自動車技術教育用教材の継続提供に対する高等学校からの強い要望に応えるため、広域公募を継続すると共に、前年度に引き続き提供教材メニューの大幅な見直しを実施した。また、担当教諭の技術知識や指導能力向上を目的とした支援活動にも取り組み、指導員の派遣や指導教材の提供を適宜実施した。

交通社会教育(自動車及び交通と社会とのかかわりに関する社会教育）では、「交通」「環境」「交通安全」「自動車」の 4 テーマを中心に取り組んだ。これらに関する国内外の先進事例の調査を重ね、調査報告書や Web マガジンの特集記事に反映させ教育関係者へ展開した。また、先生方の関心が高い環境や安全に関する先進技術や交通安全等については、先生方を対象とした財団主催研修会の開催や、関係団体からの専門講師の派遣を行うなどして、高校における自動車や交通に関する教育を支援した。

１．自動車技術教育支援事業

技術教育支援事業では、東北・甲信越・四国・九州地方の 18 県 274 校を対象に、自動車技術教育用教材提供の公募を行い、18 県 96 校より応募があった。審査委員会にて厳正な審査・選考を行い、応募のあった全 96 校に教材の提供を行った。これで、平成 3 年からの提供校累計は 2,010 校となった。また、担当教諭の技術知識や指導能力向上支援の一環として、汎用エンジン提供校（18 校）への訪問指導、電子制御エンジン提供校（7 校）への解説 DVD の提供、及び技術系の講師派遣（35 件）を実施した。

更に、公募の結果、自動車技術教育を全国的に行っている団体である全国自動車教育研究会の研究大会への助成を審査委員会で決定した。また、自動車教育推進協議会と連携し、対象 18 県全てにおいて教材贈呈式と教育懇談会を開催し、高等学校と自動車関係団体との自動車技術教育に関する交流促進と自動車教育の普及促進を図った。

調査研究事業では海外調査を 2 回、国内調査を 3 回実施した。海外においては、米国カリフォルニア州における CASE への取り組み状況とフィンランドにおける MaaS への取り組み状況を調査した。また、国内においては、ドローンを使った荷物配送、一人乗り電動カートによる高齢者等の移動支援、地域社会づくりのための給油所の在り方を調査した。

この調査結果は、財団の事業報告紙である『JAEF REPORT』で報告するとともに、Web マガ

ジン『Traffi-Cation（トラフィケーション)』の特集記事や海外交通事情として記事化し、広く高等学校への展開を行なった。また今後導入が見込まれる科目「公共」用の新たな副教材の全体を構成する全6章のうち2章を制作した。

３．研修事業

研修事業では、JAEF 研修会（財団主催の研修会）を山口、岐阜・愛知、東京の 4 都県で合計4回開催した結果、185名の高校教諭が受講し、参加者から大変高い評価を得た。また、東京モーターショーを校外学習の場として活用してもらう取り組みを実施し、全国より 39 校、7,312 名（生徒 6,819 名、引率の先生 493 名）が参加した。

講師派遣活動(地域主催研修会への支援)においては、全国の高等学校を対象に広域公募活動を行った結果、講師派遣件数は 363 件に達した。また受講した教職員と生徒の合計は 124,428 名で、4 年連続で 10 万人を超える受講者数となった。

４．普及啓発事業

普及啓発事業では、全国の高等学校の先生方を対象とした Web マガジン『Traffi-Cation』を 3 回発行し、高等学校における自動車教育に対する理解促進と財団活動に対する認知向上に努めた。

さらに、広域普及啓発活動として、ホームページ、ニュースリリース（『JAEF NEWS』)、定期事業報告紙（『JAEF REPORT』）等の多様なメディア展開を図るとともに、新たにメールマガジンやフェイスブックによる情報提供を開始し、広く世間に対して自動車教育並びに財団活動に関する情報発信を行った。また、財団ホームページや支援メニューチラシについては、事業展開に合わせて適宜更新を行うなど、タイムリーな情報発信を心掛けた。

５．組織運営について

令和元年度の財団事業は、第 18 回理事会（平成 31 年 3 月 12 日開催）にて承認された令和元年度事業計画及び令和元年度収支予算に基づき、展開された。

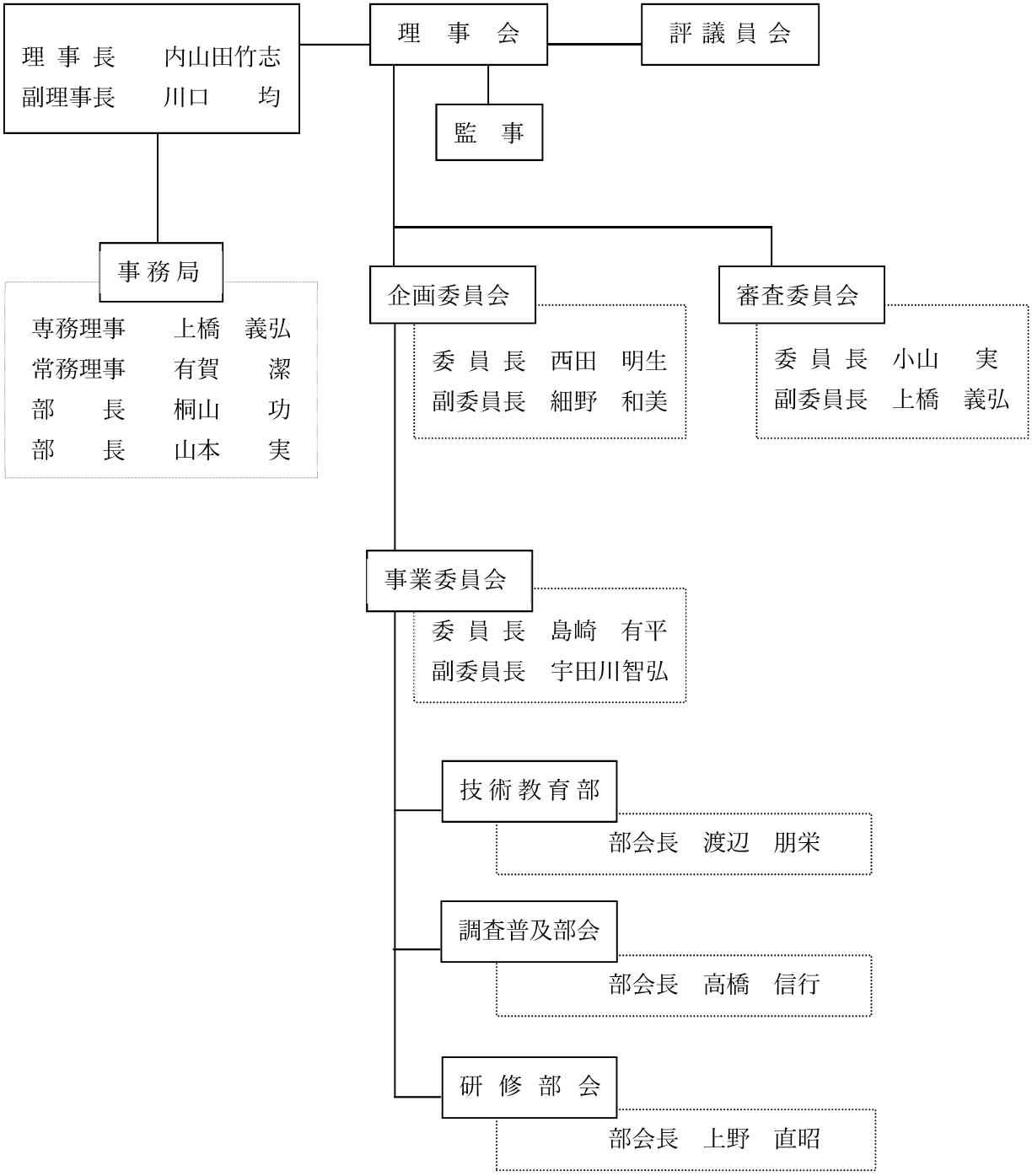
具体的な事業展開に際しては、各委員会・部会での検討を経て、効率的な展開を心がけた。これらの会議の開催状況は、企画委員会 3 回、審査委員会 1 回、事業委員会 2 回、技術教育部会 4 回、調査普及部会 2 回、研修部会 2 回となっている。

収支に関しては、収入は基本財産運用益並びに受取会費、受取寄附金により前年度並みの 7,479 万円となった。支出では、運営の効率化・適正な費用管理に努める一方、東京モーターショーを活用した校外学習プログラム等の新規取り組みにより 7,634 万円となり、最終的な収支全体は▲ 155 万円となった。

〔Ⅱ〕組織

１．機構　　令和２年３月31日現在

敬称略



２．理事・監事・評議員・最高顧問

［令和２年３月 31 日現在］

（敬称略）

理事長	内山田　竹　志	〔トヨタ自動車(株)	代表取締役会長〕
副理事長	川　口　　均	〔日産自動車(株)	特別顧問〕
理　事	永　塚　誠　一	〔(一社)日本自動車工業会	副会長・専務理事〕
理　事	平　井　敏　文	〔(一社)日本自動車販売協会連合会	副会長・専務理事〕
理　事	木　場　宣　行	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会	専務理事〕
理　事	久　米　正　一	〔(一社)日本自動車連盟	専務理事〕
理　事	徳　永　　泉	〔(一社)全国軽自動車協会連合会	専務理事〕
理　事	伊　東　祐　次	〔(一社)日本損害保険協会	常務理事〕
理　事	長　田　利　彦	〔(公社)全国工業高等学校長協会	顧問〕
専務理事	上　橋　義　弘	〔(公財)日本自動車教育振興財団	事務局常勤〕
常務理事	有　賀　　潔	〔(公財)日本自動車教育振興財団	事務局常勤〕

（以上１１名）

監　事	矢　野　義　博	〔(一社)日本自動車工業会	理事・事務局長〕
監　事	山　﨑　幸　雄	〔山﨑幸雄税理士事務所	代表〕

（以上　２名）

評議員	上　村　　肇	〔全国高等学校長協会	事務局長〕
評議員	濱　田　准　一	〔全国総合学科高等学校長協会	理事長〕
評議員	佐々木　　哲	[(公社)全国工業高等学校長協会	理事長
		全国自動車教育研究会	会長]
評議員	大　山　　敏	〔全国公民科・社会科教育研究会	会長〕
評議員	柳　田　昌　宏	〔(一社)日本自動車機械工具協会	会長〕
評議員	武　藤　孝　弘	〔(一社)日本中古自動車販売協会連合会	専務理事〕
評議員	半　田　　茂	〔(一財)日本自動車研究所	専務理事〕
評議員	山　岡　正　博	〔(一社)日本自動車会議所	専務理事〕
評議員	井　坂　智　夫	〔(一財)日本自動車査定協会	前専務理事〕
評議員	鈴　木　欣　也	〔(一社)自動車公正取引協議会	専務理事〕
評議員	小　林　健　二	〔日本自動車輸入組合	副理事長 兼 専務理事〕
評議員	佐々木　　誠	〔(公財)自動車製造物責任相談センター	常務理事〕
評議員	吉　田　量　年	〔(一社)日本自動車車体工業会	専務理事〕
評議員	西　脇　尚　澄	〔(一財)自動車検査登録情報協会	専務理事〕
評議員	鎌　田　　聡	〔(公財)国際交通安全学会	専務理事〕
評議員	福　田　安　展	〔東京海上日動火災保険(株)	専務執行役員〕
評議員	水　口　敦　志	〔損害保険ジャパン日本興亜(株)	常務執行役員〕
評議員	奥　田　尚　也	〔三井住友海上火災保険(株)	常務執行役員〕
評議員	緒　方　由貴夫	〔あいおいニッセイ同和損害保険(株)	執行役員〕
評議員	寺　谷　公　良	〔本田技研工業(株)	執行役員日本本部長〕
評議員	小　飼　雅　道	〔マツダ(株)	代表取締役会長〕

（以上２１名）

最高顧問	豊　田　章一郎
最高顧問	小　枝　　至

３．会議記録

１）第 19 回　理事会

（１）日　時　令和元年 5 月 10 日（金）　　12:00～13:00

（２）場　所　芝パークホテル　別館アイリス

（３）議　案　① 平成 30 年度事業報告及び決算について

② 第 8 回定時評議員会開催について

③ 定款・規程の変更について

（４）報　告　① 令和元年度事業進捗状況の報告

２）第 8 回　定時評議員会

（１）日　時　令和元年 5 月 28 日（火）　　16:00～17:00

（２）場　所　TKP ガーデンシティ品川 ダリア

（３）議　案　① 議長選出

② 議事録署名人選出

③ 平成 30 年度事業報告および決算について

④ 評議員の一部選任について

⑤ 理事及び監事の選任について

⑥ 定款・規程の変更について

３）第 20 回　理事会

（１）日　時　令和元年 5 月 28 日（火）　　17:00～17:10

（２）場　所　TKP ガーデンシティ品川 カトレア

（３）議　案　① 代表理事・業務執行理事等の選定について

４）第 21 回　理事会

（１）日　時　令和 2 年 3 月 11 日（水）　　11:30～12:30

（２）場　所　芝パークホテル　別館アイリス

（３）報　告　① 令和元年度事業進捗状況の報告

② 令和元年度資産運用状況及び令和 2 年度資産運用計画について

（４）議　案　① 令和 2 年度事業計画及び収支予算について

② 財団事務局職員の異動について

③ 今後の理事会・評議員会開催日程について

４．委員会

１）委員会の所管事項

（１）企画委員会

理事会に提案する事項並びに理事会より委託を受けた事項。その他、財団事業運営の基本に関わる事項

（２）審査委員会

定款第４条（１）に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業のうち、実習用機材・機械・工具等の提供に関し、具体的な対象校・対象内容ならびに自動車技術教育の振興に資する全国規模の活動に対する助成について審査・選考する事項

（３）事業委員会

定款第４条に定める事業の企画・立案・推進および調整に関する事項

事業委員会の任務を遂行するために下記の部会を設ける

① 技術教育部会

定款第４条（１）に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業に関する事項

② 研修部会

定款第４条（２）に定める高等学校及び教諭を対象とした研修会の開催と講師派遣事業に関する事項

③ 調査普及部会

定款第４条（３）に定める国内外の交通実態に関する調査研究と情報提供事業、並びに同条（４）に定める自動車教育の普及事業に関する事項

２）委員会委員

令和２年 ３月 31 日現在

（五十音順　敬称略）

（１）企画委員会（9 名）

委 員 長	西田　明生	〔トヨタ自動車㈱	渉外部 国内渉外室長〕
副委員長	細野　和美	〔日産自動車㈱	渉外部 担当部長〕
委　　員	池田　　毅	〔三井住友海上火災保険㈱	理事自動車営業推進部長〕
委　　員	大沼　伸子	〔三菱自動車工業㈱	総務渉外部　担当マネージャー〕
委　　員	忽那　武史	〔あいおいニッセイ同和損害保険㈱	自動車保険部長〕
委　　員	志鶴　光俊	〔東京海上日動火災保険㈱	理事自動車営業開発部長〕
委　　員	中川　淳一	〔本田技研工業㈱	渉外部 担当部長〕

委　　員　原　ゆかり　〔マツダ㈱　　渉外調査部 アシスタントマネージャー〕
委　　員　山下　敦志　〔損害保険ジャパン日本興亜㈱　　自動車営業推進部長〕

（２）審査委員会（7 名）

委 員 長　小山　　実　〔日本工業大学　　前教授〕
副委員長　上橋　義弘　〔(公財)日本自動車教育振興財団　　専務理事〕
委　　員　加藤　秀次　〔日本工業大学　　特認教授〕
委　　員　栗田　博康　〔(公財)東京都中小企業振興公社　　総合支援部企業人材支援課〕
委　　員　島崎　有平　〔(一社)日本自動車販売協会連合会　　参与〕
委　　員　西田　明生　〔トヨタ自動車㈱　　渉外部 国内渉外室長〕
委　　員　石井　末勝　〔(公社) 全国工業高等学校長協会　　事務局長〕

（３）事業委員会（7 名）

委 員 長　島崎　有平　〔(一社)日本自動車販売協会連合会　　参与〕
副委員長　宇田川智弘　〔(一社)日本損害保険協会　　理事〕
委　　員　稲垣　　昇　〔(一社)日本自動車連盟　　交通環境部部長〕
委　　員　海老澤　勲　〔(一社)全国軽自動車協会連合会　　管理部総務課長〕
委　　員　高橋　　徹　〔(一社)日本自動車整備振興会連合会　　教育・技術部長〕
委　　員　松本　行弘　〔(一社)日本自動車工業会　　参与　総務統括部長〕
委　　員　石井　末勝　〔(公社)全国工業高等学校長協会　　事務局長〕

① 技術教育部会（8 名）

部 会 長　渡辺　朋栄　〔三菱自動車工業㈱　　ｻｰﾋﾞｽ本部ｻｰﾋﾞｽｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ部ﾏﾈｰｼﾞｬｰ〕
副部会長　久保田博文　〔マツダ㈱　　国内営業本部　法人営業部　ｱｼｽﾀﾝﾄﾏﾈｰｼﾞｬｰ〕
委　　員　東　　慎也　〔トヨタ自動車㈱　国内ｻｰﾋﾞｽ部 技術業務室 東京ｻｰﾋﾞｽｸﾞﾙｰﾌﾟ〕
委　　員　阿部　　徹　〔日産自動車㈱　　TCSX 国内ｻｰﾋﾞｽ部 ｻｰﾋﾞｽ技術渉外 〕
委　　員　木村　壮一　〔東京都立総合工科高等学校　　機械・自動車科 教諭〕
委　　員　杉野　栄一　〔東京都立六郷工科高等学校　　ｵｰﾄﾓﾋﾞﾙ工学科　教諭〕
委　　員　田島　良英　〔本田技研工業㈱　日本本部お客様部新機種ｻｰﾋﾞｽ CS 研修課 課長〕
委　　員　齋藤　洋仁　〔(一社)日本自動車機械工具協会　　校正企画部 企画課　係長〕

② 調査普及部会（9名）

部 会 長	高橋　信行	〔(一社)日本自動車工業会	業務統括部 副統括部長〕
副部会長	石崎　正樹	〔トヨタ自動車㈱	渉外部 国内渉外室グループ長〕
委　　員	奥　　英昭	〔(一社) 日本損害保険協会	業務企画部 啓発・教育ｸﾞﾙｰﾌﾟ担当課長〕
委　　員	橋本　勝也	〔(一社)日本自動車会議所	理事〕
委　　員	竹村　公一	〔SOMPO リスクマネジメント㈱	自動車ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ部 特命部長〕
委　　員	仲　　信之	〔成蹊高等学校	教諭〕
委　　員	宮崎三喜男	〔東京都立国際高等学校	教諭〕
委　　員	渡邊　崇志	〔東京海上日動火災保険㈱	自動車営業開発部 部長〕
委　　員	光永日奈子	〔三井住友海上火災保険㈱	損害ｻﾎﾟｰﾄ業務部自動車ﾁｰﾑ 課長代理〕

③ 研修部会（8名）

部 会 長	上野　直昭	〔(一社)日本自動車連盟	交通環境部 事業推進課長〕
副部会長	八木橋　稔之	〔(一社)日本自動車販売協会連合会	法務部　部長〕
委　　員	安部　　敬	〔東京都立小松川高等学校	公民科教諭〕
委　　員	石井　隆也	〔専門学校 日産横浜自動車大学校	校長〕
委　　員	工藤　正行	〔(一社)全国軽自動車協会連合会	二輪事業担当部長〕
委　　員	樋川　明則	〔(一社)日本損害保険協会	業務企画部啓発教育ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ〕
委　　員	松岡　　誠	〔本田技研工業㈱	経営企画部統括環境安全企画渉外担当部長〕
委　　員	笠原　剛	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会	調査企画部部長代理〕

3）委員会・部会　会議実績

（1）企画委員会

① 令和元年度第1回　平成31年 4月19日（金）14:30～15:30

議題　① 第19回理事会提案資料について

② 第8回定時評議員会提案資料について

③ 第20回理事会提案資料について

② 令和元年度第２回　令和元年 11 月 11 日（月）14:30～15:20

議題　① 令和元年度財団事業進捗状況について

③ 令和元年度第３回　令和２年３月 11 日（水）【書面決議】

議題　① 令和元年度事業進捗状況及び令和２年度事業計画（案）について

新型コロナウイルス問題により書面決議とした。

また、委員全員の回答のあった日を開催日とした。

（２）審査委員会

① 第８回　令和元年 ８月２日（金）　12:00～14:00

議題　・令和元年度自動車教育用「教材」支援事業の審査選考

（支援対象校及び支援内容の決定）

・助成先の決定

※ 上記委員会開催実績における開催回は、公益財団法人移行後（平成 24 年４月～）の通算回数を表記した。

（３）事業委員会

① 令和元年度第１回　令和元年 11 月 11 日（月）13:00～14:00

議題　① 令和元年度財団事業進捗状況について

② 令和元年度第２回　令和２年年３月３日（火）【書面決議】

議題　① 令和元年度事業進捗状況及び令和２年度事業計画（案）について

新型コロナウイルス問題により書面決議とした。

また、委員全員の回答のあった日を開催日とした。

（４）技術教育部会

① 令和元年度第１回　令和元年 ５月 20 日（月）15：30～17：30

議題　① 平成 30 年度　自動車教育用教材活用状況について

② 令和元年度　自動車教育用教材メニュー（案）について

③ 令和元年度　技術系講師派遣について

② 令和元年度第 2 回　令和元年 7 月 26 日（金）16：00～17：30

議題　① 令和元年度 教材提供活動　応募状況について

② 令和元年度 審査委員会　提案内容について

③ 令和元年度 技術系講師派遣応募・実施状況について

③ 令和元年度第 3 回　令和元年 11 月 8 日（金）17：00～18：00

議題　① 令和元年度 技術教育支援事業の進捗について

② 令和元年度 技術系講師派遣活動の進捗について

④ 令和元年度第 4 回　令和 2 年 2 月 21 日（金）16：30～18：00

議題　① 令和 2 年度 財団事業進捗及び 2019 年度事業計画（案）について

② 令和 2 年度 技術教育支援事業計画(案)について

③ 令和 2 年度 技術系講師派遣活動計画（案）について

（5）調査普及部会

① 令和元年度第 1 回　令和元年 11 月 8 日（金）14:30～15:30

議題　① 令和元年度　調査研究事業の進捗状況について

② 令和元年度　普及啓発事業の進捗状況について

② 令和元年度第 2 回　令和 2 年 2 月 27 日（木）15:00～16:00

議題　① 令和 2 年度　財団事業計画（案）について

② 令和 2 年度　調査研究事業計画（案）について

③ 令和 2 年度　普及啓発事業計画（案）について

（6）研修部会

① 令和元年度第 1 回　令和元年 11 月 17 日（木）15:00～16:30

議題　① 令和元年度　研修事業の進捗状況について

② 令和元年度第２回　令和２年２月 27 日（木）13:30～14:30

議題　① 令和２年度　財団事業計画（案）について

② 令和２年度　研修事業計画（案）について

５．自動車教育推進協議会

各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、日本自動車連盟支部、軽自動車協会、日本損害保険協会支部（一部地域は中古自動車販売協会を含む）により、47 都道府県において自動車教育推進協議会が設置され、各県の高等学校を対象とした自動車教育の推進に取り組んでいる。

同推進協議会は独立した自主的組織として独自の活動に取り組む一方、全国組織である自動車教育財団と連携し、各都道府県における教材贈呈式及び教育懇談会の開催、研修会への専門講師派遣、自動車教育イベントへの協賛支援等に取り組んでいる。

自動車教育推進協議会 設置状況一覧表

令和２年３月31日現在

	名　称	設置年月日(平成)	会　長	事務局	
				事務局長	所在地（連絡先）
1	北海道自動車教育推進協議会	13. 1.10	中島好美	福田　昇	札幌市東区北28条東1-2-3　札幌自動車会館　(TEL 011-753-5162)
2	青森県自動車教育推進協議会	8. 5.17	小野大介	石川善孝	青森市奥野1-12-3　(TEL 017-776-4211)
3	岩手県自動車教育推進協議会	14. 3.20	千葉理平	山口　正	紫波郡矢巾町流通センター南2-8-3　(TEL 019-637-2881)
4	宮城県自動車教育推進協議会	12.11. 1	後藤　誠	菊池憲満	仙台市宮城野区扇町3-3-10　宮城県交通会館　(TEL 022-232-1571)
5	福島県自動車教育推進協議会	12.12. 1	金子與志人	菊地邦幸	福島市吉倉字名倉1-1　㈱福自販会館　(TEL 024-546-1664)
6	秋田県自動車教育推進協議会	12.11. 1	三浦廣巳	佐々木俊幸	秋田市八橋大畑2-12-55　(TEL 018-862-1117)
7	山形県自動車教育推進協議会	12.11. 1	小関眞一	鏡　道宏	山形市大字漆山字行段1422　(TEL 023-686-4521)
8	新潟県自動車教育推進協議会	13.11. 1	遠藤佳彦	小林正美	新潟市中央区東出来島11-16　新潟県自動車会館　(TEL 025-285-6286)
9	(一社)長野県自動車販売店協会	13. 5.23	宇都宮進一	五明利雄	長野市大字高田字五分一沖679-10 長野県自動車会館　(TEL 026-226-5416)
10	茨城県自動車教育推進協議会	14.10. 1	幡谷定俊	市川昌幸	水戸市住吉町292-5　茨城県自動車会館　(TEL 029-247-4860)
11	栃木県自動車教育推進協議会	12.10.25	小平雅久	鈴木忠明	宇都宮市今宮2-4-6　栃木県自動車会館　(TEL 028-658-8811)
12	群馬県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	大山駿作	星野　朗	前橋市野中町564　群馬自販会館　(TEL 027-261-0830)
13	埼玉県自動車教育推進協議会	18.10. 1	茂木喜明	塩原良二	さいたま市西区大字中釘2255　㈱埼自販会館　(TEL 048-623-1211)
14	千葉県自動車教育推進協議会	14. 4. 1	出野祥平	櫻井義彰	千葉市美浜区新港207　(TEL 043-242-3321)
15	東京都自動車教育推進協議会	17.11.18	酒井信也	髙橋哲哉	品川区西五反田4-32-9　東京日産西五反田ビル１号館３F　(TEL 03-3491-8241)
16	神奈川県自動車教育推進協議会	14.10. 1	上野健彦	大蔵幸雄	横浜市都筑区池辺町3663　神奈川県自販会館　(TEL 045-933-3626)
17	山梨県自動車教育推進協議会	15. 5.30	佐々木宏明	輿石光彦	笛吹市石和町唐柏1000-7 山梨県自動車販売店会館　(TEL 055-263-3001)
18	富山県自動車教育推進協議会	12.12. 1	品川祐一郎	森岡富士夫	富山市新庄町字馬場18-8　富山県自販会館　(TEL 076-425-8353)
19	石川県自動車教育推進協議会	12.12. 1	要明英二	松田　等	金沢市直江東2-122-1　(TEL 076-238-5177)
20	福井県自動車教育推進協議会	12.12. 6	浮田啓三	安藤和博	福井市西谷1-1401　福井県自動車会館　(TEL 0776-34-1622)
21	岐阜県自動車教育推進協議会	17.10.24	加藤元康	藤川正人	岐阜市日置江2648-2　岐阜県自動車会館　(TEL 058-279-3761)
22	静岡県自動車教育推進協議会	16. 2.18	芹澤正明	古屋勝治	静岡市駿河区国吉田2-4-35　静岡県自販会館　(TEL 054-261-2177)
23	愛知県自動車教育推進協議会	15.10. 1	小栗一朗	伊藤敏男	名古屋市中川区昭和橋通4-8-2 愛知県自販会館　(TEL 052-353-6161)
24	三重県自動車教育推進協議会	13. 3.10	岩井純朗	福田泰尚	津市雲出長常町字六ノ割1190-1　三重県自動車会議所会館　(TEL 059-234-4567)
25	滋賀県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	山中隆太郎	井戸木　亘	守山市木浜町2299-12　滋賀県自販会館　(TEL 077-585-7292)
26	京都府自動車教育推進協議会	14. 9. 1	森川莫臣	小寺雅夫	京都市伏見区竹田向代町51-5　京都自動車会館　(TEL 075-671-6121)
27	大阪府自動車教育推進協議会	18.11. 1	久保尚平	柳田重利	寝屋川市高宮栄町13-1　(TEL 072-821-5522)
28	兵庫県自動車教育推進協議会	13. 7. 1	瀧川高章	木村淳三	神戸市東灘区魚崎浜町33　兵庫県自動車会館　2F　(TEL 078-441-1501)
29	奈良県自動車教育推進協議会	15. 3. 1	菊池　攻	辻　隆範	大和郡山市額田部北町981-8　㈱奈良県自動車会館　(TEL 0743-56-8458)
30	和歌山県自動車教育推進協議会	12.11. 1	中谷久生	大蔵留治	和歌山市湊1106　和歌山県自動車会館　(TEL 073-422-2027)
31	鳥取県自動車教育推進協議会	15. 4.14	米原　良	但住和雄	鳥取市丸山町246-1　(TEL 0857-24-6171)
32	島根県自動車教育推進協議会	14.11. 1	野々村健造	久保田茂実	松江市馬潟町43-4　(TEL 0852-37-0044)
33	岡山県自動車教育推進協議会	14.11. 1	梶谷俊介	谷本博志	岡山市北区富吉5301-8　(株)岡山県自動車会館2F　(TEL 086-259-3000)
34	広島県自動車教育推進協議会	11. 9. 1	岡本精二	藤原弘登	広島市西区横川新町4-13-13-3　広島県自動車会館　(TEL 082-232-4418)
35	山口県自動車教育推進協議会	11. 3. 1	上野龍之介	瀬川英顕	山口市葵1-5-58　山口県自動車会館　(TEL 083-922-0909)
36	徳島県自動車教育推進協議会	8.12.16	藤村　実	武田耕二	徳島市応神町応神産業団地1-6 徳島県自動車会館　(TEL 088-641-2665)
37	香川県自動車教育推進協議会	17. 1. 1	星合貴彦	一宮軌善	高松市香西東町278-1　(TEL 087-881-4996)
38	愛媛県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	岡　豊	竹葉　晃	松山市森松町1075-2　(TEL 089-956-2747)
39	高知県自動車教育推進協議会	15. 7.29	佐藤誠三	秋山教二郎	高知市大津乙1879-5　高知県自動車会館　(TEL 088-866-6000)
40	福岡県自動車教育推進協議会	13.12. 1	金野　誠	三浦俊一	福岡市東区千早3-9-23　福岡交通会館　(TEL 092-681-5963)
41	佐賀県自動車教育推進協議会	13. 8. 1	前田博憲	本村修紹	佐賀市若楠2-7-1　佐賀県自販会館　(TEL 0952-31-1335)
42	長崎県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	円田浩司	平　新一郎	長崎市中里町1576-7　長崎県自販連会館　(TEL 095-839-2611)
43	熊本県自動車教育推進協議会	12.11. 1	齊藤直信	松本伸二	熊本市東区東町4-14-8　熊本県自動車会館　(TEL 096-365-0638)
44	大分県自動車教育推進協議会	10. 6.15	橋本　仁	弥田達美	大分市大津町3-4-13　大分交通会館1F　(TEL 097-558-7791)
45	宮崎県自動車教育推進協議会	15. 7.11	佐土嶋恒夫	中武光博	宮崎市大字本郷北方字鵜戸尾2735-25　宮崎県自販会館　(TEL 0985-51-8255)
46	鹿児島県自動車教育推進協議会	14. 3. 1	諏訪秀治	町田昇二	鹿児島市谷山港2-4-9　鹿児島県自動車会館　(TEL 099-262-0011)
47	沖縄県自動車教育推進協議会	8. 2.14	野原朝昌	平良幸生	浦添市港川512-8　沖縄県自動車会館　(TEL 098-877-5225)

〔Ⅲ〕事業活動

1.自動車技術教育支援事業

1）機材提供活動

公募に向けて、自動車技術教育用教材メニューは、視聴覚教材の補完・補強を実施した。自動車技術以外でも活用可能な教材や課題研究や部活での活用を狙った教材を新設し、既存メニューの一層の機能強化や充実を図り、過去最大数の 30 メニューとした。

公募は、18 県 274 校（全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会または全国自動車教育研究会に加盟している高校）を対象に実施し、96 校から応募申請があった。

これらの応募申請について、8 月 2 日に開催した審査委員会での厳正な審査・選考の結果、18 県、96 校の全ての高校に自動車技術教育用教材の提供を決定した。

なお、これらの教材の提供は、10 月～2 月にかけて各高校へ発送を行い、次年度以降、各校の教育現場にて活用いただく予定である。

（1）令和元年度　自動車技術教育用教材メニュー　及び　提供校数

区分	№	教材名	提供校数
視聴覚教材	1	自動車の基礎・電気	1
	2	自動車の基礎とエンジンの作動	8
	3	動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動	3
	4	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット	2
	5	eTOOLBOXハイブリッド自動車編	1
	6	DVD&デジビデオ『自動車のメカニズム』（新設）	1
	7	動く掛図　4サイクル・2サイクル	2
	8	説明模型　4サイクルガソリンエンジン	1
	9	ハイブリッドシステム　模型（新設）	5
	10	駆動用ギヤ学習セット	1
	11	模型で学ぶ　センサー技術　（自動走行）（新設）	2
	12	サスペンション　模型（新設）	1
	13	四輪ホイールアライメントモデル（新設）	1
初級教材	14	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉（変更）	18
	15	分解組立用キャブレターエンジン　660cc	0
	16	分解組立用電子制御エンジン　軽自動車660cc	3
	17	分解組立用電子制御エンジン　小型車1300cc	4
	18	実習用工具セット	10
	19	実習用工具　トルクレンチ	2
	20	急速充電器	3
	21	低床型手動ジャッキ　足踏付　2t	1
	22	エンジンスタンド　〈簡易型〉	3
中級教材	23	トレーニングサーキット	1
	24	燃料電池実験キット	0
	25	燃料電池システム　〈エコラン大会用〉	3
	26	ビデオスコープ	0
	27	灯火回路実習装置（変更）	1
上級教材	28	実車　〈中古車〉	7
	29	エンジン実習装置	3
	30	スキャンツール　〈外部故障診断装置〉（変更）	8

（２）応募及び審査結果

公募地域 (A 地区)	秋田・山形・群馬・山梨・新潟・長野・徳島・香川・愛媛・高知 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄　　合計１８県 (対象校は 274 校)	
応募校数	18 県、96 校	
支援校数	18 県、96 校 (詳細は 15 頁の一覧表参照)	累計支援校数　　2,010 校 (平成 3 年からの累計数)

（３）自動車教育用教材活用報告書について

平成 30 年度に教材提供を受けた高校を対象に、令和元年度における自動車教育用教材の活用状況を集約した。技術教育部会にて報告し、今後の活動の参考資料とした。

区分	教材名	提供校数	年間総使用 (1 校当たり)	
			活用生徒数	使用日数
視聴覚教材	1　自動車の基礎・電気	3	48	19
	2　自動車の基礎とエンジンの作動	5	50	15
	3　動力伝達駆動制御走行装置の作動	5	25	20
	4　自動車の電気・電子技術	2	191	13
	5　自動車と環境技術	0		
	6　eTOOLBOX ハイブリッド自動車編	2	62	11
	7　動く掛図教材(4 サイクル･2 サイクル)	2	89	14
	8　説明模型　4 サイクルガソリンエンジン	4	148	22
	9　駆動用ギヤ学習セット	2	35	8
初級教材	10 分解組立用エンジン(汎用・126cc)	22	64	22
	11 分解組立用キャブレターエンジン	0		
	12 分解組立用エンジン(軽自動車)	2	46	12
	13 分解組立用エンジン(小型車)	5	71	20
	14 実習用工具セット	10	60	35
	15 実習用工具トルクレンチ	6	43	20
	16 急速充電器	3	105	23
	17 低床型手動ジャッキ足踏付　２ｔ	1	130	28
	18 エンジンスタンド　簡易型	0		
中級教材	19 トレーニングサーキット	3	57	8
	20 燃料電池実験キット	3	18	12
	21 燃料電池システム (エコラン大会用)	4	42	38
	22 ビデオスコープ	0		
	23 電装品シミュレーターボード	0		
上級教材	24 実車（中古車）	6	65	27
	25 エンジン実習装置	2	58	60
	26 スキャンツール(外部故障診断機)	10	67	33
総　計		102		

2）教員支援活動

教材提供活動の一環として、汎用エンジン・分解組立用エンジン教材を提供した高校を対象に、授業での有効活用と教育効果を高めてもらうことを目的に「フォロー指導」を実施した。

汎用エンジンを提供した 18 校に対しては、教材納入時の 10 月～11 月に同エンジン製造メーカーの専門家が各提供校へ訪問し、エンジン教材の活用方法や安全管理等に関する指導教諭へのアドバイスを行った。

また、分解組立用エンジンを提供した 7 校に対しては、教材納入時期に合わせて整備マニュアルと専門指導員による指導内容を撮影・編集した「分解・組立解説 DVD」を提供した。

（1）訪問指導実施校

	高等学校名	
1	山形県立寒河江工業高等学校	11 月 12 日
2	山形県立酒田光陵高等学校	11 月 12 日
3	群馬県立前橋工業高等学校	11 月 5 日
4	群馬県立太田工業高等学校	10 月 17 日
5	群馬県立藤岡工業高等学校	10 月 17 日
6	山梨県立韮崎工業高等学校	11 月 27 日
7	新潟県立巻総合高等学校	10 月 28 日
8	新潟県立糸魚川白嶺高等学校	11 月 28 日
9	新潟県立佐渡総合高等学校	10 月 17 日
10	長野県飯田 OIDE 長姫高等学校	10 月 31 日
11	愛媛県立松山工業高等学校	11 月 25 日
12	福岡県立小倉工業高等学校	11 月 13 日
13	福岡県立八幡工業高等学校	11 月 13 日
14	熊本県立御船高等学校	11 月 6 日
15	学校法人大淀学園 鵬翔高等学校	10 月 31 日
16	鹿児島県立頴娃高等学校	10 月 30 日
17	鹿児島県立曽於高等学校	10 月 30 日
18	沖縄県立南部工業高等学校	11 月 25 日

（2）「分解・組立　解説 DVD」の提供校

	学校名	実施日
1	新潟県立新潟工業高等学校	12 月 3 日
2	新潟県立上越総合技術高等学校	12 月 18 日
3	福岡市立博多工業高等学校	11 月 20 日
4	学校法人真颯館 真颯館高等学校	11 月 29 日
5	学校法人九州電機工業学園 希望が丘高等学校	12 月 2 日
6	大分県立津久見高等学校	11 月 29 日
7	大分県立宇佐産業科学高等学校	11 月 1 日

３）協賛支援活動

協賛支援（助成金）活動は、4 月 1 日から 5 月末日までの期間に公募し、8 月 2 日に開催の審査委員会にて審査選考の結果以下の活動に対して助成した。

名　称	第 62 回全国自動車教育研究大会
主　催	全国自動車教育研究会
目　的	高等学校・高等専門学校の自動車関連学科における自動車教育に関わる教職員の資質向上と自動車教育の振興と発展を図る。
参加者	全国高等学校における自動車教育関係職員　約 90 名
開催時期	令和元年 10 月 10 日(木)～11 日(金)　(於：愛知県　岡崎市)
協賛金	1,500,000 円

４）交流促進活動

自動車技術教育用教材の提供対象 18 県については、全県で教材贈呈式及び教育懇談会を実施した。そこでは、教材提供を受けた高校の校長・担当教諭を始めとする教育関係者と、自動車教育推進協議会のメンバーによる、自動車技術教育の現状と課題についての熱心な情報交換が行われ、今後の自動車教育推進の参考となる実り多い会合となった。

（参加者の詳細は、42～48 頁の【資料 2】を参照）

〔贈呈式・教育懇談会開催一覧〕

地域	校数	開催日	開催場所	協議会	学校	計
秋田	4	10月3日	秋田自動車販売店協会	10	9	19
山形	7	10月4日	パレスグランデール	7	13	20
群馬	8	10月15日	ﾗｼｰﾈ新前橋	5	14	19
高知	3	10月16日	自動車会館	8	7	15
徳島	2	10月17日	徳島県自動車整備振興会	10	3	13
佐賀	2	10月17日	グランデ　はがくれ	6	5	11
香川	3	10月18日	リーガホテルゼスト高松	7	6	13
愛媛	5	10月23日	愛媛県自動車会館	5	8	13
山梨	4	10月29日	山梨県自動車販売店会館	7	8	15
新潟	11	11月1日	新潟東映ホテル	8	10	18
大分	7	11月1日	レンブラントホテル	6	12	18
鹿児島	4	11月5日	サンロイヤルホテル	6	8	14
宮崎	3	11月6日	宮崎観光ホテル	7	8	15
長崎	4	11月14日	ホテルセントヒル長崎	6	7	13
福岡	14	11月20日	ソラリア日鉄ホテル福岡	7	20	27
熊本	7	11月27日	熊本ホテルキャッスル	7	15	22
沖縄	5	12月5日	美里工業高等学校	3	9	12
長野	3	12月11日	ホテルメトロポリタン長野	6	3	9
合計	96			121	165	286

令和元年度

自動車教育用教材提供校一覧表

県名		学校名	機材名
秋田	1	秋田県立秋田工業高等学校	燃料電池システム　〈エコラン大会用〉
	2	秋田県立由利工業高等学校	実習用工具セット
	3	秋田県立大曲工業高等学校	動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動
	4	秋田県立男鹿工業高等学校	実車　〈中古車〉 1
山形	1	山形県立山形工業高等学校	自動車の基礎・電気
	2	山形県立寒河江工業高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 C
	3	山形県立村山産業高等学校	エンジンスタンド　〈簡易型〉
	4	山形県立酒田光陵高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 A
	5	山形明正高等学校	トレーニングサーキット
	6	創学館高等学校	ハイブリッドシステム　模型
	7	羽黒高等学校	eTOOLBOXハイブリッド自動車編
群馬	1	群馬県立前橋工業高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 A
	2	群馬県立高崎工業高等学校	動く掛図　4サイクル・2サイクル
	3	群馬県立新田暁高等学校	自動車の基礎とエンジンの作動
	4	群馬県立太田工業高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 A
	5	群馬県立渋川工業高等学校	スキャンツール　〈外部故障診断装置〉
	6	群馬県立渋川工業高等学校　定時制	実習用工具セット
	7	群馬県立藤岡工業高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 C
	8	群馬県立館林商工高等学校	模型で学ぶ　センサー技術　(自動走行)
山梨	1	山梨県立韮崎工業高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 B
	2	山梨県立甲府工業高等学校	自動車の基礎とエンジンの作動
	3	山梨県立峡南高等学校	自動車の基礎とエンジンの作動
	4	山梨県立甲府城西高等学校	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット
新潟	1	新潟県立新潟工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc 2
	2	新潟県立巻総合高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 C
	3	新潟県立新津工業高等学校	ハイブリッドシステム　模型
	4	新潟県立新発田南高等学校	サスペンション　模型 B
	5	新潟県立長岡工業高等学校	実習用工具　トルクレンチ A
	6	新潟県立栃尾高等学校	DVD&デジビデオ『自動車のメカニズム』
	7	新潟県立新潟県央工業高等学校	動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動
	8	新潟県立塩沢商工高等学校	エンジンスタンド　〈簡易型〉
	9	新潟県立上越総合技術高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc 3
	10	新潟県立糸魚川白嶺高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 A
	11	新潟県立佐渡総合高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 A
長野	1	長野県上田千曲高等学校	ハイブリッドシステム　模型
	2	長野県駒ヶ根工業高等学校	ハイブリッドシステム　模型
	3	長野県飯田OIDE長姫高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 A
徳島	1	徳島県立阿南光高等学校	駆動用ギヤ学習セット
	2	徳島県立つるぎ高等学校	実習用工具セット
香川	1	香川県立高松工芸高等学校	急速充電器
	2	香川県立坂出工業高等学校	実車　〈中古車〉 6
	3	香川県立多度津高等学校	自動車の基礎とエンジンの作動
愛媛	1	愛媛県立新居浜工業高等学校	自動車の基礎とエンジンの作動
	2	愛媛県立松山工業高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 C
	3	愛媛県立吉田高等学校	実習用工具　トルクレンチ B
	4	新田高等学校	急速充電器
	5	松山聖陵高等学校	スキャンツール　〈外部故障診断装置〉
高知	1	高知県立高知工業高等学校	実習用工具セット
	2	高知県立須崎総合高等学校	実習用工具セット
	3	高知県立宿毛工業高等学校	スキャンツール　〈外部故障診断装置〉

県名		学校名	機材名
福岡	1	福岡県立苅田工業高等学校	急速充電器
	2	福岡県立小倉工業高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 A
	3	福岡県立戸畑工業高等学校	自動車の基礎とエンジンの作動
	4	福岡県立八幡工業高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 B
	5	福岡県立三池工業高等学校	実習用工具セット
	6	福岡県立八女工業高等学校	エンジン実習装置
	7	福岡県立鞍手竜徳高等学校	自動車の基礎とエンジンの作動
	8	福岡市立博多工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc 2
	9	真颯館高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc 1
	10	豊国学園高等学校	自動車の基礎とエンジンの作動
	11	飯塚高等学校	灯火回路実習装置
	12	筑紫台高等学校	エンジン実習装置
	13	祐誠高等学校	実車　〈中古車〉6
	14	希望が丘高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc 3
佐賀	1	佐賀県立有田工業高等学校	動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動
	2	敬徳高等学校	エンジン実習装置
長崎	1	長崎県立長崎工業高等学校	実車　〈中古車〉 1
	2	長崎県立島原工業高等学校	ハイブリッドシステム　模型
	3	長崎県立佐世保工業高等学校	エンジンスタンド　〈簡易型〉
	4	佐世保実業高等学校	スキャンツール　〈外部故障診断装置〉
熊本	1	熊本県立御船高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 C
	2	熊本県立水俣高等学校	模型で学ぶ　センサー技術　(自動走行)
	3	熊本県立熊本工業高等学校	実習用工具セット
	4	熊本県立玉名工業高等学校	実習用工具セット
	5	熊本県立小川工業高等学校	実習用工具セット
	6	熊本県立八代工業高等学校	スキャンツール　〈外部故障診断装置〉
	7	熊本県立天草工業高等学校	スキャンツール　〈外部故障診断装置〉
大分	1	大分県立日出総合高等学校	動く掛図　4サイクル・2サイクル
	2	大分県立大分工業高等学校	燃料電池システム　〈エコラン大会用〉
	3	大分県立津久見高等学校	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc 2
	4	大分県立日田林工高等学校	説明模型　4サイクルガソリンエンジン
	5	大分県立中津東高等学校	燃料電池システム　〈エコラン大会用〉
	6	大分県立宇佐産業科学高等学校	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc 1
	7	大分高等学校	四輪ホイールアライメントモデル
宮崎	1	宮崎県立日向工業高等学校	実習用工具セット
	2	鵬翔高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 A
	3	都城東高等学校	実車　〈中古車〉 6
鹿児島	1	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	低床型手動ジャッキ　足踏付　2t
	2	鹿児島県立頴娃高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 C
	3	鹿児島県立曽於高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 A
	4	鹿児島情報高等学校	スキャンツール　〈外部故障診断装置〉
沖縄	1	沖縄県立沖縄工業高等学校	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット
	2	沖縄県立美来工科高等学校	スキャンツール　〈外部故障診断装置〉
	3	沖縄県立那覇工業高等学校	実車　〈中古車〉 6
	4	沖縄県立南部工業高等学校	分解組立用エンジン　〈汎用126cc〉 A
	5	沖縄県立宮古工業高等学校	実車　〈中古車〉 6

＜県別内訳＞

秋田　4校　山形　7校　群馬　8校　山梨　4校　新潟　11校　長野　3校　徳島　2校　香川　3校　愛媛　5校　高知　3校
福岡　14校　佐賀　2校　長崎　4校　熊本　7校　大分　7校　宮崎　3校　鹿児島 4校　沖縄　5校

合計: 18県 96校

２.調査研究事業

１）調査活動

高校生・先生方のクルマに対する関心高揚や理解向上を図るべく、「交通」「環境」「交通安全」の３テーマを軸に、国内外の交通調査を実施し、情報収集とノウハウの蓄積に努めた。

（１）海外調査の実施

令和元年度は海外調査を 2 回実施した。第 1 回目は 7 月に、米国カリフォルニア州サンディエゴ及びサンフランシスコにて、CASE への取り組みを政策当局等へのヒアリングを通じて把握し、今後の日本での CASE 対応に向けた知見を得ることを目的として実施した。この調査に際して、自動車関係団体・企業など 8 名の参加を得て調査団を組織した。

電動化については、排出ガス規制制定など方針を立案する州政府機関と、同機関からの委託による補助金プロクラムのローカルベースでの実施部隊との間で役割・機能が明確であり、脱炭素社会に向けた着実な進展が伺えた。

自動運転については、公道での本格運用を前提とした自動運転バスの実証実験が 2017 年から行われ、法規制対応を踏まえて 2023 年の実用化を計画している。これまで運行に係る事故やトラブルは特に発生していない。公道での実用化に向け着実に進展している様が伺えた。

またシェアリングについては、既に様々なモビリティサービスが一般に浸透しており、ユーザーの利便性を確保すべく、当局が各課題に対応している事例を知ることができた。サンフランシスコ国際空港では、ライドシェアサービス企業（ウーバーなど＝Transportation Network Companies : TNC）の構内への乗入数増加に伴い、TNC から徴収した空港使用料を原資に、渋滞解消策を講じている。同空港には、ピックアップ目的の TNC 用に広大な専用駐車場が設けられている。

電動キックボードシェアリングは、今回訪問した両市にてその普及が確認できた。ユーザーにとって使い易い〝乗り捨て型〟で、高い利便性だけでなく安全面でも特長がある。最高 20km/h 程度で走行できるが、歩行者との接触事故を避けるべく、歩行者の多い場所では時速 5 マイル（8km）が上限となるよう GPS で制御されている。

第 2 回目の調査は、9 月にフィンランドのヘルシンキにて、MaaS の先進事例とされる同市の実状を調査し、今後の日本での導入・展開に向けた知見を得ることを目的に実施した。

ヘルシンキでの MaaS は先進事例として各所で取り上げられているが、その実態は期待と異なるものであった。当初は都市の再開発に伴い増加するクルマの交通量を抑制し、公共交通機関の利用促進を狙っていたが、導入後 1 年間の成果では、マイカー利用率（交通分担率）に殆ど変化は見られていない。また、専用アプリ「Whim」の登録者数も 7 万人とヘルシンキ市民比で 1 割強に過ぎず、決して普及しているレベルとは言えない。街中でインタビューした市民からも、「既に交通事業者のアプリが普及しているので、Whim を利用する必要がない」等、肯定的なコメントは聞かれなかった。

MaaS の仕組を成立させるため、各交通事業者が各種データ（運賃、運行ルート、決済方法等）をオープンにすることを求められ、アプリ運営会社に対してコミッションの支払いが発生する。新たなモビリティサービス事業者との競合を強いられる既存の交通事業者と当局間でも摩擦が生じたという。

同市での MaaS 実現は、関わる交通事業者数が少なかったことがその主因である他、国や自治体が法整備を含む、諸課題の解決に積極的に取り組んだことも大きい。

【海外調査の概要】

	第１回目	第２回目
日　程	令和元年７月６日（土）～13日（土）	令和元年９月22日（日）～27日（金）
目　的	米国における“CASE”への取り組みを、政策当局等へのヒアリングを通じて把握し、今後の日本でのCASE対応に向けた知見を得る	MaaSの先進事例とされるフィンランドでの実状を調査し、今後の日本での導入・展開に向けた知見を得る
調査先	加州サンディエゴ、サンフランシスコ	フィンランド ヘルシンキ
調査の様子	 ▲ サンフランシスコ国際空港 ライドシェア ピックアップ専用駐車場	 ▲ MaaS用アプリ“Whim”の画面

（２）国内調査の実施

国内の交通事情調査を３回実施。

第１回目は、ドローンの活用に関し４月に東京都の日本郵便本社にて、福島県の郵便局間で実施した全国初の目視外飛行ドローンを使った荷物配送を取材した。業務効率化への寄与は確認できたが、幾つかの課題もあり期待通りの効果を得るには時間を要するとみられる。そのひとつとして、飛行状況把握のため、監視基地局でドローンからの撮影映像を受信する必要があるが、当該データ通信に商業用通信網（電波帯）を使えず、独自バルーンで電波を中継していることから、悪天候下では飛行できない状況にある。

第２回目は、一人乗り電動カートの普及への課題を探るべく８月にサービスロボットの開発・製造・販売を手掛ける株式会社テムザックの京都府内の研究施設にて取材を行った。ファースト＆ラストマイル対応のモビリティサービス実用化に向け、モビリティ自体の技術・製品の開発は順調に進捗している。但し、現在の法規制（電動車いすの速度6km/h制限、歩道のみ走行可）ではユーザーの活動範囲に限界が生じるため、規制見直し・緩和が必要。同社が、京都市とともに申請している国家戦略特区「パーソナルモビリティ特区」の認可により、制限速度を変えて歩道も車道も走行でき、車両保安基準も簡素化される。

第３回目は、クルマの燃費改善等により燃料需要が減少傾向にある給油所の将来像を探るべく、１月に全国石油業共済協同組合連合会、及び相原興業（株）セルフリーダー上大井SSにて取材を実施した。事業環境は厳しいが、給油所の防災性やユーザーの来店頻度が高いという特徴を活かし、地域のコミュニティ拠点として、また公共サービスの出張所等としての活用に期待がかかる。但し実際は、消防法による規制と同法の現場運用を任される所轄消防署による管理がネックとなり、実現へのハードルは高い。一部で規制緩和の成果も出てきているが、更なる加速が望まれる。

【国内調査の概要】

	第 1 回目	第 2 回目	第 3 回目
日程	4 月 17 日（水）	8 月 23 日（金）	1 月 22 日（水）他
目的	福島県の郵便局間で、全国初の目視外飛行ドローンを使った荷物配送を実施。山間地等での配送網確保、運輸業界の人手不足対策としての可能性を調査。	高齢者を含む全ての人に、移動の自由を提供する一人乗り電動カート。" 自ら移動する" 為のモビリティとしての位置づけ、普及への課題を調査。	クルマの燃費改善・電動化等に伴う燃料需要減少等を背景に、経営が厳しくなっている給油所。街づくり、地域社会維持のための活用策と同事業の将来像を探る。
調査先	東京都	京都府	東京都、神奈川県
調査の様子	▲他郵便局向けの荷物を運ぶドローン	▲中速域モビリティとして期待される一人乗り電動カート	▲給油所に併設されている宅配ボックス

（3）高校生のクルマに関する意識調査の実施

財団では、高校生の今の関心事項や価値観、クルマに対する意識を把握すべく、2013 年に初めて Web でのアンケート調査を実施した。その後の動向を把握するため、2 年に一度同調査を行っている。2019 年 10 月に第 4 回目のアンケート調査を実施し、財団の各部会・委員会にて報告した。調査対象は、首都圏、京阪神圏、九州圏の高校生 300 名（各地域 100 名）である。

調査結果では、クルマへの関心度が他の娯楽・趣味的行動と比較し、相対的に低い傾向は変わっていない。普通免許の取得やクルマの所有に対する意向については、全体では 8 割を超える高いレベルにあるが、今回新たな傾向として顕著になったのは、女性の当該意向の低下である。普通免許の取得意向は前回調査から 14.0 ポイント、クルマの所有意向は同 15.6 ポイントと大きく低下した。またクルマに対する見方・意識についても、男女間での差が明らかになった。男性はクルマをステータスシンボルや憧れととらえている一方、女性はクルマの実用性に対する意識が高かった。

尚、モーターショーに関する認知度及び来場意向度はそれぞれ 54.0%、32.0%で、前回調査から低下したものの 2013 年、2015 年を上回る結果であった。

2）教材作成活動

（1）記事の作成

海外調査の結果については、調査報告書を作成し財団の調査普及部会や企画委員会・事業委員会などで報告するとともに、財団業務報告紙（『JAEF　REPORT』）にて財団関係者へ概要を報告した。また、本年度より Web マガジンの体裁に変更した広報誌『Traffi-Cation』の掲載記事「海外交通事情報告」として記事化した。

国内調査の結果は『Traffi-Cation』の特集記事として記事化した。

（2）副教材の作成・提供

① 「公共」用新副教材の企画検討を開始

次期学習指導要領では、主権者として社会参画する力を育てるために社会科系の必修科目「公共」が 2022 年より導入される。これを踏まえ、授業展開により役立つ教材を企画・制作すべく、教育現場の先生に参画いただくプロジェクトを立ち上げた。2020 年に初期版、2022 年に改訂版の完成を計画しており、当年度は全体を構成する 6 章（テーマ）の内、2 章の内容を制作した。

＜テーマ：地球温暖化＞

＜テーマ：モビリティの保障＞

② 既存副教材の提供

ホームページや JAEF 研修会、自動車教育用教材贈呈式などで、既存の『持続可能な社会づくりと自動車交通』、『自転車の交通安全』、『クルマを通じて社会を考える』、『くらしと交通安全』、『くらしと交通』シリーズ（Vol.1～Vol.5）、『くらしと地球環境』シリーズ（Vol.1～2）、『別冊 Traffi-Cation 国内交通事例特集』シリーズ（Vol.3、4）、および『別冊 Traffi-Cation 海外交通事情報告』シリーズ（Vol.3、4）の告知・提供を行なった。

この結果、令和元年度は約 300 冊の副教材を提供した。

３.研修事業

１）財団研修活動

文部科学省及び各開催都県の教育委員会の後援並びに各高等学校教育関係団体から協賛を得て、「環境・技術」・「交通安全」を研修テーマに JAEF 研修会（高等学校の教諭を対象に財団が主催する研修会）を、山口、岐阜、愛知、東京２回の都県で計４回開催した。高等学校教諭 113 名が参加し、参加者からは大変高い評価をいただくことができた。（参加者アンケートの「大変良い」と「良い」の合計の割合は 98%）

また、平成４年から開催している同研修会の累計開催回数は 119 回、延べ参加者は 4,588 名である。

なお、校外学習の一環として「東京モーターショー」に高校生を招聘、6,819 名が参加しアンケート形式の校外学習報告書(6,247 枚)を提出してもらった（財団初の試み）。

【令和元年度ＪＡＥＦ研修会開催実績】

回 実施日	会場	講演テーマ、講師及び見学施設	参加人数
第１回 ８月 ５日 （月）	マツダ美祢自動車試験場 （山口県美祢西厚保町）	【講演】「マツダのクルマづくりの考え方」について 講師：マツダ株式会社　車両開発本部　自動車試験場 アシスタントマネージャー　岸田　崇宏　氏 【体験】「安全運転トレーニング（ドライビングポジション）」	１８名
第２回 ８月８日 （木）	トヨタ自動車（株） 多治見サービスセンター （岐阜県多治見市） トヨタ博物館 （愛知県長久手市）	【講演】「TOYOTA　GAZOO　Racing の取り組み」 講師：トヨタ自動車株式会社 GR パワートレーン推進部 部長　　加地　雅哉　氏 【見学】トヨタ自動車(株) 多治見サービスセンター トヨタ博物館	３６名
第３回 ８月 20 日 （火）	日本自動車会館 くるまプラザ会議室 （東京都港区）	【講演】「バイクシェアリングなど新たな都市交通の可能性と課題」 講師：公益社団法人日本交通計画協会 交通計画研究所　企画室室長　三浦　清洋　氏 【講演】「自転車時代到来と交通安全対策」 講師：特定非営利活動法人自転車活用推進研究会 理事長　　小林　成基　氏	２６名
第４回 10 月 24 日 （木）	東京ベイ有明 ワシントンホテル （東京都江東区）	【講演】「イノベーションが未来を拓く～自動車が変わると社会が変わる～」 講師：トヨタ自動車（株） 代表取締役会長　内山田 竹志　氏 【講演】「人と機械の協調運転から見えてくる安全な運転環境」 講師：交通コメンテーター　（有）ＮＡＣ 代表取締役　西村　直人　氏 【見学】第 46 回東京モーターショー2019（自由見学・自由解散）	１０５名
		合　計	１８５名

【主なアンケート結果】

① 東京モーターショーを見学後、クルマへの関心が高まった高校生　：６６％%

② 次回のモーターショーへも見学に行きたい高校生　：３０％

③ 「CASE」に関して「自動運転」に興味を示した高校生　：５０％

《自動運転に興味を持った理由》

・最近事故が多いから、決められた道路を安全に運転できる時代になって欲しい

・高齢者でも安全に車に乗ることができる

・実用化されれば、人手不足のドライバー業界でもスムーズな作業を行うことができる

・体が不自由な方が行きたいところへ行くことができる

2）講師派遣活動

学校関係団体が主催する研修会、及び高等学校が生徒を対象に開催する講習会等への講師派遣活動について、例年どおり全国公募を実施した。講師派遣メニューでは「交通技術と社会のあり方（自動運転と紛争解決）」を新設したほか、昨年に続き「環境技術」「交通技術」に関しては生徒対象の研修会も講師派遣の対象とした。その結果、44 都道府県で 363 回の講師派遣が実施され、延べ 124,428 人の先生および生徒が参加した。参加者は、平成 28 年度から 4 年連続で 10 万人超えとなった。

363 回の内訳は、区分別には自動車技術教育 35 回、交通社会教育 328 回であった。また、新設メニューの「⑪ 交通技術と社会のあり方（自動運転と紛争解決）」4 回を含め、「環境技術」・「交通技術」ジャンルで交通社会教育 328 回のうち 17 回を占めた。

講師は研修テーマに合わせて、関係団体・企業の専門家等を派遣しているが、本年度は 363 回中 341 回について日本自動車連盟支部、日本損害保険協会支部、自動車整備振興会、自動車販売会社といった地元講師の協力を受けた。（詳細は【資料 1】を参照）

【令和元年度講師派遣メニューと派遣件数】

区分	ジャンル		研修メニュー	派遣講師（派遣団体・企業）	派遣件数（回）	参加人数
自動車技術教育	自動車の最新技術〔講演型〕	①	トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタ系ディーラー	8	391
		②	日産・電気自動車について	日産系ディーラー	7	360
		③	ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダ系ディーラー	8	404
		④	マツダ・SKYACTIV エンジンについて	マツダ	3	68
		⑤	三菱・プラグインハイブリット車について	三菱自動車工業	3	146
	自動車の整備技術〔体験型〕	⑥	ガソリンエンジンの分解・組立	整備振興会	2	15
		⑦	トランスミッションの分解・組立	整備振興会	2	10
		⑧	電子制御エンジンの構造と点検・整備	整備振興会	2	26
				自動車技術教育　計	35	1,420
交通社会教育	環境技術	⑨	地球温暖化防止と自動車技術	自動車関係団体他	10	876
	交通技術	⑩	交通技術と社会のあり方(自動運転技術の現状と方向性)	自動車関係団体他	3	490
		⑪	交通技術と社会のあり方（自動運転と紛争解決）	自動車関係団体他	4	232
	交通安全	⑫	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟	108	46,882
		⑬	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟	107	43,827
		⑭	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	15	3,524
		⑮	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	12	2,107
		⑯	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	63	24,963
		⑰	二輪車（バイク）の交通安全 ～高校生のための Safety Riding	日本二輪車普及安全協会	6	107
				交通社会教育　計	328	123,008
				全体　合計	363	124,428

４．普及啓発事業

１）普及啓発活動

（１）Web マガジン『Traffi－Cation』の発行

高校教諭を対象とする普及啓発活動の一環として冊子にて発行してきた広報誌『Traffi-Cation』を、より幅広い読者にアクセスしていただきやすい Web マガジンへと形態を変更した。今年度は以下内容にて３回発行した。

【『Traffi-Cation』発行状況】　※ 令和２年３月末現在

番　号	発行日	タイトル・内容	Web サイト閲覧数 ※
No.51 夏号	R01.7.5	＊特集 「ドローン配送″ はドライバー不足解消の切り札となるか」 ＊交通安全トピックス 「イヤホンをつけて″ ながら運転″ の自転車　人をはねていなくても「ひき逃げ」で書類送検」 ＊海外交通事情報告 第 51 回 「普及率世界一　ノルウェーの電気自動車導入促進策」 ＊人、クルマ、そして夢。 第 20 回 「先進安全技術を実装した国産初の連節バス」	約 770
No.52 秋号	R01.11.7	＊特集 「高齢者の″ 自ら移動する自由″ 確保のために　～一人乗り電動カートが次世代パーソナルモビリティとなるための要件～」 ＊交通安全トピックス 「要注意！電動アシスト自転車の乗り方」 ＊海外交通事情報告 第 52 回 「イギリスのドライバー向け安全運転教育　～受講しやすい環境設定、コース修了者には保険料割引も～」 ＊人、クルマ、そして夢。 第 21 回 「世界的な普及が始まる電気自動車の姿」	約 720
No.53 春号	R02.3.9	＊特集 「新たなクルマ社会における給油所の将来」 ＊交通安全トピックス 「自転車の『ワープ左折』は道路交通法違反」 ＊海外交通事情報告 第 53 回 「アメリカ カリフォルニア州で進む″ CASE″ 対応」 ＊人、クルマ、そして夢。 第 22 回 「サポカー補助金にみる社会受容性」	約 170

No.51　夏号

No.52　秋号

No.53　春号

（2）メールマガジンによる情報提供

今年度より高校教諭等への情報提供活動として、メールマガジンの配信を開始した。当財団の活動状況、クルマや交通安全に関するトピックス等をテーマに、4 月より合計 51 回配信した。3 月末までの登録者数は約 340 名。

メールマガジン画面

2）広域普及啓発活動

（1） マスコミとのダイレクトコミュニケーション活動

① 事業計画説明会の開催

第 8 回定時評議員会における、平成 30 年度事業報告並びに平成 31 年度（令和元年度）事業計画の承認を受けて、同会議の翌日（5 月 29 日）日本自動車会館　くるまプラザ会議室において、恒例となった「財団事業計画説明会」を実施した。自動車・損保・教育関係専門紙誌が対象で、参加者は 12 名であった。

② 令和 2 年度事業計画（案）に関する懇談会の開催

メディアの有する情報・意見を把握することで、より効果的な計画策定の一助とすること、及びメディアとの関係を更に強化することを目的とし、2 月 20 日に日本自動車会館　くるまプラザ会議室において実施した。当財団の事業内容に精通している主要 4 媒体を参加対象とした。

（2）SNS（フェイスブック）による情報発信

当財団活動の認知度を高めるべく、7 月よりフェイスブックによる情報発信を開始した。当財団イベント等の情報を関連画像と共に掲載し、3 月末までの投稿数は 18 回。

フェイスブック　投稿画面

（３）「ニュースリリース」の発行

前年度に引き続き、報道機関向けのニュースリリース『JAEF NEWS』をタイムリーに発行（年間 26 回）した。

【『JAEF NEWS』発行状況】

番　号	発 行 日	タイトルと内容
No. 724	R01.5.29	令和元年度定時評議員会を開催
No.725	R01.7.23	第 46 回東京モーターショー2019 に高校生・教員 7,850 名を招待
No.726	R01.7.24	「令和元年度 第 1 回 JAEF 研修会」を開催 （マツダ美祢自動車試験場）
No.727	R01.7.24	「令和元年度第 2 回 JAEF 研修会」を開催 （トヨタ自動車多治見サービスセンター、トヨタ博物館）
No.728	R01.7.29	「令和元年度第 3 回 JAEF 研修会」を開催 （日本自動車会館　くるまプラザ）
No.729	R01.8.2	令和元年度 自動車技術教育用教材の提供校を決定
No.730	R01.9.12	秋田県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.731	R01.9.12	山形県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.732	R01.9.25	群馬県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.733	R01.9.25	高知県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.734	R01.9.25	佐賀県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.735	R01.9.25	徳島県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.736	R01.9.25	香川県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.737	R01.10.1	愛媛県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.738	R01.10.3	「令和元年度 第 4 回 JAEF 研修会」を開催 （東京ベイ有明ワシントンホテル、東京モーターショー会場）
No.739	R01.10.8	山梨県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.740	R01.10.11	新潟県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.741	R01.10.11	大分県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.742	R01.10.15	鹿児島県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.743	R01.10.15	宮崎県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.744	R01.10.24	長崎県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.745	R01.10.30	福岡県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.746	R01.11.6	熊本県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.747	R01.11.14	沖縄県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.748	R01.11.20	長野県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No.749	R02.3.12	第 21 回理事会を開催

（4）広報媒体（ホームページ、パンフレット、JAEF 支援メニュー）の充実・活用

広域普及媒体であるホームページやパンフレットにより財団活動の周知活動を行った。ホームページコンテンツをタイムリーに更新した他、閲覧者にとって分かりやすい表示を採用するなど実施した。

ホームページ トップ画面

財団パンフレット

また、先生向けの財団による支援メニューを具体的かつ手軽に告知できるようにした『JAEF 支援メニュー【令和元年度版】』チラシも改訂・活用し、先生方への財団活動告知に努めた。

（５）『JAEF REPORT』の発行

関係者向けの財団事業報告紙として『JAEF REPORT』（A4 判・4 頁・カラー）を定期的（４・７・１０・１月の年４回）に発行した。直近の財団活動実績や今後の行事予定などを、財団関係者へ分かりやすく伝える情報媒体として定着している。

また、『JAEF REPORT』をホームページでも公開し、財団活動の幅広い理解促進を図った。

【『JAEF REPORT』発行状況】

番　号	発行日	タイトル・内容
No.241	H31. 4. 5	★ 第 18 回理事会を開催、2019 年度事業計画・予算を承認 ★ 2018 年度講師派遣：参加者 3 年連続で 10 万人超え ★ 2019 年度講師派遣募集開始 ★ 高校生対象 第 46 回東京モーターショー招待 募集開始 ★ 2018 年度自動車教育用教材活用結果 ★ 2019 年度自動車教育用教材の公募予定
No.242	R01. 7. 5	★ 理事会・評議員を開催 ★ 令和元年度事業計画説明会を開催 ★ 令和元年度 JAEF 研修会の参加者を募集 ★ 43 都道府県の研修会（221 件）に講師を派遣 ★ 高校生対象 東京モーターショー 校外学習を支援（参加者募集）
No.243	R01. 10. 5	★ 令和元年度 自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定 ★ 令和元年度 第 1 回～第 3 回 JAEF 研修会を開催 ★ 26 都道府県（73 件）の研修会に講師を派遣 ★ 自動車技術教育イベントを支援 ★ 令和元年度 第 1 回海外交通事情調査を実施（米国）
No.244	R02. 1. 5	★ 新年のご挨拶 ★ 18 県で教材贈呈式を開催 ★ 令和元年度 第 4 回 JAEF 研修会を開催 ★ 第 46 回東京モーターショーで高校生の校外学習を支援 ★ 各部会・委員会にて 令和元年度上期活動状況を報告 ★ 29 都道府県(59 件)の研修会に講師を派遣 ★ 令和 2 年度 講師派遣募集開始 ★ 令和元年度 第 2 回海外交通事情調査を実施（フィンランド）

〔Ⅳ〕支援活動

１．自動車技術教育関連イベントへの支援

前年度に引き続き、高校生が参加する全国イベント３件（前年継続）にジャパンマイコンラリー2020 を加え、４件に支援を実施した。高校生ものづくりコンテスト全国大会に今年度より財団賞を設け、盾と賞状を贈呈した。

県別イベント４件に支援を実施した。なお、その内の４件は、地元の自動車教育推進協議会と連携し合同で支援を行なった。

	イベント名称	開催日	開催地	主催者	協賛支援内容	
					財団	協議会
全国イベント	第 26 全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山	8/4	石川	石川県	協賛金	賞状・盾
	第 19 回高校生ものづくりコンテスト全国大会	11/17～18	東海	全国工業高等学校長協会	協賛名義 賞状・盾	
	2019 エコデンレース全国大会	11/23	大阪	全国自動車教育研究会	協賛金	
	ジャパンマイコンラリー2020	1/11～12	北九州	全国工業高等学校長協会	協賛金	
県別イベント	三重県工業高校生フェア	8/3	三重	三重県高等学校工業教育研究会	協賛金	協賛金
	2019 長野県高校生　交通安全 CM コンテスト	10/12	長野	長野県交通事故ゼロチャレンジ実行委員会	協賛金	協賛金
	第 21 回沖縄県高等学校エコデンレース大会	10/15	沖縄	沖縄県工業教育研究会	協賛金	協賛金
	第 27 回静岡県高校生エコラン大会	11/3	静岡	静岡県工業高等学校長会	協賛金	協賛金

２．研究会及び研究大会への支援

前年度に続き、高校教諭を会員とする研究会活動を対象に、２件の支援を実施した。

	支援対象	実施日	支援先	協賛支援内容	
				財団	協 議 会
研究会支援	「全公社研紀要」への広告掲載	—	全国公民科・社会科教育研究会	協賛広告	
	「全総会報」への広告掲載	—	全国総合学科高等学校長協会	協賛広告	

〔Ⅴ〕組織運営

1．理事・監事・評議員の異動

所属団体での異動による一部評議員の退任及び理事・監事の任期満了に伴い、令和元年 5 年 28 日（火）に開催された第 8 回定時評議員会において、評議員の一部選任並びに理事・監事の選任が行われた。その結果、評議員においては、4 名の退任評議員の後任として 4 名の新評議員が一部選任された。また、理事・監事については、新たに 11 名の理事と 2 名の監事が選任された。

これらの評議員会の決定を受けて同日開催された第 20 回理事会では、代表理事並びに業務執行理事等の選定が行われ、内山田竹志氏に理事長を務めていただくこととなった。

2．委員会・部会の効率的な運営

委員会・部会の運営にあたっては、その機能を十分に発揮できるよう心がけた。

会議の開催状況は、企画委員会 3 回、審査委員会 1 回、事業委員会 2 回、技術教育部会 4 回、調査普及部会 2 回、研修部会 2 回となっている。

3．経理・財務の状況

関係団体からのご支援による賛助会費及び寄附金と、国債並びに仕組預金等の運用による基本財産運用益が主な収入である。令和元年度は、計画通りの利金を得ることができ、前年並みの収入となった（仕組預金の一部が早期償還となり、より利率の高い仕組預金に代替えしたが、当年度へのインパクトは生じない）。支出面においては、高校生を対象とした東京モーターショー見学会開催等の新規業務に取り組みながらも、運営の効率化・費用管理に努め、当初計画より若干低減することができた。これにより、当初より計画していた赤字幅を縮小することができた。

〔Ⅵ〕庶務事項

1．事務局体制

・令和２年３月 31 日現在の業務分担は以下のとおりである。

役　職	氏　名	担当業務	担当会議
専務理事	上橋　義弘	事業統括、事務局統括 （調査研究事業）	理事会・評議員会 企画委員会、事業委員会
常務理事	有賀　　潔	調査研究事業、普及啓発事業、 経理・財務、システム	調査普及部会 （理事会・評議員会）
部　　長	桐山　　功	技術教育支援事業	審査委員会、技術教育部会
部　　長	山本　　実	研修事業 総務	研修部会 （理事会・評議員会）
職　　員	下野　尚美	（経理、総務、研修）	（研修部会）
職　　員	佐藤江里花	（調査、普及啓発、システム）	（調査普及部会）
職　　員	山内しのぶ	（技術教育、総務）	（企画委員会、事業委員会） （審査委員会、技術教育部会）

※（　）内は副担当としてのアシスト業務を示す

2．賛助会費・寄附金の状況

・令和元年度の賛助会費・寄附金は以下の通りである。

＜賛助団体名＞	＜金　額＞
・（一社）日本自動車工業会	35,000 千円
・（一社）日本損害保険協会	2,400 千円
・（一社）日本自動車販売協会連合会	4,800 千円
・（一社）日本自動車連盟	1,200 千円
・（一社）日本自動車会議所	600 千円
・（一社）全国軽自動車協会連合会	1,200 千円
・（一社）日本中古自動車販売協会連合会	600 千円
・（一社）日本自動車整備振興会連合会	600 千円
・（一財）自動車検査登録情報協会	600 千円
合　　計	47,000 千円

＜寄附団体名＞	＜金　額＞
・（一社）日本自動車機械工具協会	6,000 千円
合　　計	6,000 千円

以　上

【資料１】令和元年度講師派遣実績
１．自動車技術教育

№	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		人数
1	神奈川	県立向の岡工業高等学校	3/7	② 日産・電気自動車について	神奈川日産自動車株式会社　サービス部長	杉山広明	70
2	茨城	県立江戸崎総合高等学校	3/26	① トヨタ・ハイブリッド車について	茨城トヨタ自動車株式会社　サービス部技術課	古賀一光	37
3	茨城	県立江戸崎総合高等学校	3/26	③ ホンダ・ハイブリッド車について	株式会社ホンダカーズ茨城　サービス課課長	石塚達也	37
4	広島	市立広島工業高等学校	4/16	③ ホンダ・ハイブリッド車について	株式会社　ホンダ四輪販売西中国　サービス課長	小滝　克己	36
5	長崎	県立島原工業高等学校	4/11	① トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタカローラ長崎株式会社　営業支援本部　営業支援室　サービスG	松永佑太郎	40
6	茨城	県立江戸崎総合高等学校	3/26	⑤ 三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業株式会社　サービスエンジニアリング部	正木 博	37
7	山形	創学館高等学校	4/19	③ ホンダ・ハイブリッド車について	株式会社ホンダ四輪販売南・東北　山形営業部　サービス推進課	笹原康則	46
8	長崎	県立島原工業高等学校	4/11	③ ホンダ・ハイブリッド車について	本田技研工業株式会社　日本本部　お客様部　新機種CS研修課	松本大介	46
9	宮城	県加美農業高等学校	3/11	② 日産・電気自動車について	株式会社日産サティオ宮城　カスタマー営業企画推進担当　部長	安部典昭	30
10	北海道	富良野緑峰高等学校	3/20	② 日産・電気自動車について	旭川日産自動車株式会社	岩渕勝博	90
11	福岡	福岡市立博多工業高等学校	4/4	① トヨタ・ハイブリッド車について	福岡トヨタ自動車株式会社　サービス部サービス技術課	藤井誠悟	38
12	長崎	県立島原工業高等学校	4/11	② 日産・電気自動車について	日産プリンス長崎販売株式会社　サービス本部	道下靖憲	75
13	宮城	古川工業高等学校	5/9	① トヨタ・ハイブリッド車について	宮城トヨタ自動車株式会社　ＭＴＧサービスＧ	相澤 拓立	80
14	北海道	札幌工業高等学校	4/5	① トヨタ・ハイブリッド車について	札幌トヨタ自動車株式会社　営業本部サービス企画部　サービス技術課長	澤田克彦	76
15	岡山	県立勝間田高等学校	4/19	④ マツダ・SKYACTIVエンジンと最新技術	マツダ株式会社　カスタマーサービス能力開発部 サービス技術研修グループ	田中克明	28
16	神奈川	神奈川県　工業部会	6/26	② 日産・電気自動車について	神奈川日産自動車株式会社　サービス部長	杉山広明	6
17	沖縄	沖縄県工業教育研究会	4/22	⑧ 電子制御エンジンの構造と点検整備	一般社団法人沖縄県自動車整備振興会教育指導部	仲程智武	18
18	埼玉	県立春日部工業高等学校	5/21	③ ホンダ・ハイブリッド車について	株式会社ホンダカーズ埼玉 テクニカルセンター センター長	藤倉 充	40
19	埼玉	県立春日部工業高等学校	5/21	③ ホンダ・ハイブリッド車について	株式会社ホンダカーズ埼玉 テクニカルセンター センター長	藤倉 充	40
20	大阪	市立生野工業高等学校	7/18	⑥ ガソリンエンジンの分解・組立	大阪府自動車整備振興会　教育部教務課	青木茂昌	7
21	新潟	県立新潟県央工業高等学校	4/15	③ ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダ学園　本田テクニカルカレッジ関東	森岡　健	121
22	広島	市立広島工業高等学校	4/16	③ ホンダ・ハイブリッド車について	株式会社　ホンダ四輪販売西中国　サービス課長	小滝克己	38
23	群馬	県立桐生工業高等学校	3/6	① トヨタ・ハイブリッド車について	群馬トヨタ自動車株式会社　サービス部企画技術グループ　課長	小谷野　誠	80
24	富山	県立高岡工芸高等学校	9/18	① トヨタ・ハイブリッド車について	富山トヨタ自動車株式会社　サービス部	関口展正	30
25	奈良	県立奈良朱雀高等学校	5/7	② 日産・電気自動車について	近畿日産株式会社 サービス支援部	川畑利彦	72
26	宮城	県立古川工業高等学校 定時制	3/27	④ マツダ・SKYACTIVエンジンと最新技術	株式会社東北マツダ　サービス営業部係長	夛田大介	16
27	北海道	札幌琴似工業高等学校	4/15	⑥ ガソリンエンジンの分解・組立	札幌地方自動車整備振興会　相談境域部教育課	瀧田　智	8
28	北海道	札幌琴似工業高等学校	4/15	⑧ 電子制御エンジンの構造と点検整備	札幌地方自動車整備振興会　相談境域部教育課	瀧田　智	8
29	大阪	府立茨木工科高等学校	7/31	① トヨタ・ハイブリッド車について	大阪トヨペット株式会社　サービス技術部	谷水　康之	10
30	福岡	福岡市立博多工業高等学校	4/4	⑤ 三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業株式会社　サービスエンジ	正木 博	39
31	北海道	札幌琴似工業高等学校	4/15	② 日産・電気自動車について	札幌日産自動車株式会社　総務部	岡　義洋	17
32	北海道	北見工業高等学校	10/25	⑦ トランスミッションの分解組立	一般社団法人北見地方自動車整備振興会	中田吉則	5
33	北海道	北見工業高等学校	10/25	⑦ トランスミッションの分解組立	一般社団法人北見地方自動車整備振興会	中田吉則	5
34	東京	都立六郷工科高等学校	10/23	④ マツダ・SKYACTIVエンジンと最新技術	マツダ株式会社　カスタマーサービス能力	新森　寛	24
35	東京	都立墨田工業高等学校	6/5	⑤ 三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業株式会社　サービスエンジ	正木 博	70
自動車技術教育計							1420

２．交通社会教育

No.	都道府県	主　催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
1	富山	富山高等専門学校本郷キャンパス	4/5	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・富山支部	林　宏二	235
2	長野	県松本工業高等学校	4/8	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子　公一	194
3	広島	広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校	4/9	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・広島支部	田中　浩司	554
4	東京	大森学園高等学校	4/9	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・東京支部	谷　宗一郎	300
5	大阪	府立布施高等学校	4/9	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	235
6	長野	外語学園松本第一高等学校	4/10	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・長野支部	金子　公一	644
7	滋賀	滋賀学園高等学校	4/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・滋賀支部	生田　真	220
8	山形	県立谷地高等学校	4/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉　保	274
9	高知	高知市立高知商業高等学校	4/10	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・四国支部	齋藤　利幸	272
10	高知	高知市立高知商業高等学校	4/10	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・四国支部	齋藤　利幸	283
11	高知	高知市立高知商業高等学校	4/11	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・高知支部	本田　清治	278
12	埼玉	春日部共栄高等学校	4/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	井平　高史	541
13	大阪	初芝立命館高校	4/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	小山　真	380
14	北海道	深川西高等学校	4/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤　博行	300
15	青森	県立青森中央高等学校	4/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・青森支部	中園　浩二	587
16	石川	県立田鶴浜高等学校	4/11	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・北陸支部	横田　龍夫	75
17	千葉	県立柏南高等学校	4/12	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	中村　仁義	363
18	熊本	県立第一高等学校	4/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川　憲司	385
19	福島	県立石川高等学校	4/12	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	田代　秀之	61
20	東京	都立小川高等学校	4/12	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・東京支部	高木　孝	319
21	茨城	県立取手松陽高等学校	4/12	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	道家　謙太郎	636
22	長野	県上田染谷丘高等学校	4/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子　公一	900
23	山梨	県立甲府昭和高等学校	4/12	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山梨支部	丹澤　英之	241
24	大阪	府立北千里高等学校	4/12	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	1,120
25	愛知	県立幸田高等学校	4/15	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	700
26	静岡	藤枝順心高等学校	4/15	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	永田　泰裕	200
27	北海道	長万部高等学校	4/15	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部	荒川　昌一	85
28	兵庫	県立阪神昆陽高等学校	4/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・兵庫支部	岡田　裕己	120
29	兵庫	県立阪神昆陽高等学校3部	4/16	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・兵庫支部	岡田　裕己	60
30	鳥取	鳥取城北高等学校	4/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・鳥取支部	大目　弘之	1,119
31	青森	県立三戸高等学校	4/16	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	菅野　福雄	134
32	宮崎	県立福島高等学校	4/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・宮崎支部	竹内　真一	250
33	東京	都立八王子拓真高等学校	4/16	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	浅見　英明	950
34	東京	都立足立新田高等学校	4/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部	高木　孝	280
35	青森	県立野辺地高等学校	4/17	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園　浩二	240
36	静岡	県立静岡城北高等学校	4/17	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	永谷　和俊	843

No.	都道府県	主　催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
37	山形	県立酒田東高等学校	4/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉　保	600
38	東京	都立荒川商業高等学校	4/17	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	竹島　亜機雄	212
39	大阪	大阪市立第二工芸高等学校定時制	4/17	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	156
40	茨城	県立鹿島高等学校	4/17	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	梶原　太	880
41	鹿児島	県立鹿児島高等特別支援学校	4/18	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・鹿児島支部	白濱　純洋	93
42	岩手	県立宮古工業高等学校	4/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岩手支部	青木　順哉	225
43	福島	県立郡山高等学校	4/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	田代　秀之	557
44	群馬	明和県央高等学校	4/18	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	重政　彰一	224
45	群馬	明和県央高等学校	4/18	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	重政　彰一	225
46	千葉	船橋市立船橋高等学校	4/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・千葉支部	永山　栄司	1,209
47	愛知	名古屋市立名東高等学校	4/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	1,130
48	青森	県立青森北高等学校	4/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園　浩二	671
49	群馬	前橋市立前橋高等学校	4/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野　賢次	750
50	福井	県立美方高等学校	4/19	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福井支部	伊藤　鉄平	156
51	宮城	県仙台三桜高等学校	4/19	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・宮城支部	渋谷　輝明	840
52	秋田	県立大曲農業高等学校太田分校	4/19	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	58
53	北海道	標津高等学校	4/19	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・釧路支部	内藤　裕孝	170
54	青森	県立八戸高等支援学校	4/19	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園　浩二	121
55	静岡	県立島田高等学校	4/22	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	永田　泰裕	599
56	岩手	県立花巻清風支援学校	4/22	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岩手支部	青木　順哉	138
57	鹿児島	県立山川高等学校	4/23	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	前野　哲郎	104
58	秋田	県立十和田高等学校	4/23	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	167
59	愛知	清林館高等学校	4/23	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	366
60	岐阜	加納高等学校	4/23	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋　義典	410
61	秋田	県立支援学校天王みどり学園	4/23	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	21
62	宮崎	県立高城高等学校	4/24	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	古西　朱美	370
63	北海道	剣淵高等学校	4/24	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部	荒川　昌一	94
64	静岡	県立裾野高等学校	4/24	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・静岡支部	永谷　和俊	568
65	青森	県立鰺ヶ沢高等学校	4/24	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・青森支部	中園　浩二	86
66	北海道	旭川工業高等学校	4/24	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤　博行	743
67	兵庫	育英高等学校	4/24	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	石井　義久	205
68	北海道	札幌西陵高等学校	4/24	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・札幌支部	山本　洋平	890
69	岩手	県立宮古商業高等学校	4/24	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岩手支部	青木　順哉	392
70	東京	都立大山高等学校	4/24	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部	谷　宗一郎	624
71	群馬	県立伊勢崎清明高等学校	4/25	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野　賢次	740
72	山梨	東海大学付属諏訪高等学校	4/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山梨支部	金子　公一	943

No.	都道府県	主　催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
73	群馬	県立伊勢崎高等学校	4/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野　賢次	951
74	北海道	札幌東陵高等学校	4/25	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・札幌支部	山本　洋平	918
75	愛知	県立古知野高等学校	4/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	730
76	岐阜	県立可茂特別支援学校	4/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋　義典	11
77	岩手	県立盛岡峰南高等支援学校	4/25	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岩手支部	青木　順哉	132
78	北海道	美唄尚栄高等学校	4/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	山本　洋平	172
79	群馬	県立高崎女子高等学校	4/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野　賢次	931
80	愛知	名古屋市立山田高等学校	4/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部		860
81	兵庫	神戸市立葺合高等学校	4/26	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	岡田　裕己	100
82	新潟	県立正徳館高等学校	4/26	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	重政　彰一	101
83	栃木	県立真岡高等学校	4/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・栃木支部	田村　鋭夫	636
84	青森	県立大湊高等学校	4/26	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園　浩二	542
85	福島	福島明成高校	4/26	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	田代　秀之	720
86	静岡	県立静岡北特別支援学校	4/26	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	永田　泰裕	43
87	東京	山崎学園富士見中学高等学校	4/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山形支部	谷　宗一郎	160
88	北海道	津別高等学校	4/26	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・北見支部	佐々木　純	90
89	秋田	県立栗田支援学校	4/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	51
90	長野	県駒ヶ根工業高等学校	4/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子　公一	347
91	茨城	県立坂東総合高等学校	4/26	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	村上　重隆	240
92	秋田	県立栗田支援学校	4/26	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	泉　寿和	64
93	奈良	県立五條高等学校	4/27	高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・奈良事務所	上田　正治	31
94	秋田	秋田県立本荘高等学校	5/1	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	678
95	石川	小松市立高等学校	5/7	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・石川支部	元谷　公一	615
96	広島	県立国泰寺高等学校	5/8	交通技術と社会のあり方（自動運転技術の現状と方向性）	NAC	西村　直人	281
97	東京	都立世田谷総合高等学校	5/8	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	栗山　稔朗	715
98	兵庫	県立西脇北高等学校	5/8	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	岡田　裕己	194
99	茨城	岩瀬日本大学高等学校	5/8	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	村上　重隆	170
100	埼玉	武南高等学校	5/8	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	小林　宗博	561
101	栃木	文星芸術大学附属高等学校	5/8	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	松本　義則	40
102	秋田	県立秋田西高等学校	5/8	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	511
103	広島	県立総合技術高等学校	5/9	交通技術と社会のあり方（自動運転技術の現状と方向性）	NAC	西村　直人	109
104	大阪	府立藤井寺高等学校	5/9	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	隅田　清	255
105	北海道	名寄高等学校	5/9	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤　博行	339
106	長野	県岩村田高等学校	5/9	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・長野支部	金子　公一	601
107	岐阜	県立各務原西高校	5/9	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋　義典	920
108	富山	県立高岡西高等学校	5/10	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・富山支部	林　宏二	375

No.	都道府県	主　催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
109	山梨	県立甲府東高等学校	5/10	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	梶原　太	750
110	岡山	玉野市立玉野備南高等学校	5/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岡山支部	建部　拓	43
111	宮城	県名取北高等学校	5/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・宮城支部	冨澤　亮人	827
112	北海道	北星学園大学附属高等学校	5/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	山本　洋平	780
113	大阪	東大阪大学柏原高等学校	5/13	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	250
114	岐阜	県立恵那特別支援学校	5/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋　義典	21
115	福岡	県立水産高等学校	5/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福岡支部	佐藤　勇夫	438
116	北海道	東川高等学校	5/14	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤　博行	245
117	山梨	県立日川高等学校	5/14	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山梨支部	丹澤　英之	744
118	茨城	県立茎崎高等学校	5/15	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	野間口　拓実	156
119	山口	高水高等学校	5/15	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山口支部	宮崎　秀広	684
120	千葉	県立柏の葉高等学校	5/15	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	中村　仁義	943
121	兵庫	県立西脇北高等学校	5/15	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	枡谷　広明	44
122	山形	県立米沢商業高等学校	5/16	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉　保	329
123	宮城	県柴田農林高等学校	5/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・宮城支部	渋谷　輝明	80
124	三重	三重県高等学校理科教育研究会	5/16	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野　法一	100
125	大阪	府立門真西高等学校	5/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	430
126	京都	府立北嵯峨高等学校	5/16	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	橋本　昇	920
127	北海道	網走桂陽高等学校	5/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・北見支部	佐々木　純	413
128	愛知	県立一宮興道高等学校	5/17	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	1,000
129	茨城	県立土浦湖北高等学校	5/17	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	梶原　太	710
130	福島	県立福島南高等学校	5/17	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	五味　正夫	556
131	青森	県立木造高等学校深浦校舎	5/17	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園　浩二	52
132	北海道	札幌西高等学校定時制	5/17	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・札幌支部	山本　洋平	40
133	秋田	県立男鹿工業高等学校	5/17	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	289
134	新潟	新潟清心女子中学・高等学校	5/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・新潟支部	梨本　信栄	224
135	広島	並木学院福山高等学校	5/20	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・中国支部	国好　雅夫	52
136	北海道	留辺蘂高等学校	5/21	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・北見支部	佐々木　純	69
137	熊本	県立八代東高等学校	5/22	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川　憲司	378
138	三重	県立朝明高等学校	5/22	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・三重支部	菅野　雄彦	680
139	宮城	石巻好文館高等学校	5/22	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・宮城支部	渋谷　輝明	600
140	福岡	県立浮羽工業高等学校	5/22	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	新冨　正昭	495
141	秋田	県立大館鳳鳴高等学校	5/22	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	横岡　彰	666
142	宮城	県泉松陵高等学校	5/23	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	岩城　仁	810
143	長野	県飯田ＯＩＤＥ長姫高等学校	5/23	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子　公一	817
144	大阪	府立富田林高等学校	5/23	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	240

No.	都道府県	主　催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
145	神奈川	県立藤沢西高校	5/23	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	原澤　康嗣	334
146	熊本	県立八代清流高等学校	5/23	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川　憲司	431
147	秋田	県立秋田北高等学校	5/23	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	674
148	長野	県野沢北高等学校	5/23	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子　公一	630
149	北海道	千歳北陽高等学校	5/24	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部	荒川　昌一	538
150	愛知	県立知立高等学校	5/24	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	937
151	長崎	県立桜が丘特別支援学校	5/24	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長崎支部	小林　輝彦	82
152	三重	県立四日市中央工業高等学校	5/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・三重支部	萱野　雄彦	714
153	群馬	県立下仁田高等学校	5/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野　賢次	126
154	千葉	県立下総高等学校	5/28	高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・沖縄事務所	林　暁彦	5
155	福岡	古賀竟成館高等学校	5/28	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	松永　寿一郎	650
156	熊本	県立松橋支援学校	5/28	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川　憲司	74
157	福島	県立郡山支援学校	5/28	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	田代　秀之	14
158	福岡	大牟田高等学校	5/28	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	栗山　智美	810
159	北海道	室蘭栄高等学校定時制課程	5/29	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部	荒川　昌一	51
160	大阪	東大阪大学柏原高等学校	5/29	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	石井　義久	240
161	岐阜	県立羽島北高等学校	5/30	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋　義典	828
162	沖縄	県立八重山高等学校	5/30	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・沖縄支部	前里　清光	680
163	群馬	県立大泉高等学校	5/30	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野　賢次	465
164	広島	県立呉工業高等学校	5/30	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・中国支部	清水　英男	400
165	山形	県立山形養護学校	5/30	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山形支部	籾山　雄介	16
166	福島	県立いわき総合高等学校	5/30	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	渡辺　定則	210
167	愛知	県立瀬戸西高等学校	5/30	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	960
168	静岡	県立掛川西高等学校	5/30	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・中部支部	宇佐美　真帆	328
169	福島	県立会津第二高等学校定時制	5/31	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	田代　秀之	28
170	神奈川	県立瀬谷西高等学校	5/31	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	池田　幸平	695
171	宮城	県石巻高等学校	5/31	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・宮城支部	渋谷　輝明	720
172	群馬	県立長野原高等学校	5/31	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野　賢次	104
173	長野	県大町岳陽高等学校	6/3	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・長野支部	金子　公一	687
174	愛知	県立美和高等学校	6/3	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	770
175	神奈川	県立平塚商業高等学校	6/3	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	池田　幸平	209
176	北海道	月形高等学校	6/4	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部	荒川　昌一	87
177	大阪	箕面学園高等学校	6/5	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	石井　義久	491
178	石川	県立金沢錦丘高等学校	6/5	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・石川支部	坪内　秀輔	321
179	岐阜	本巣松陽高等学校	6/6	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・中部支部	高橋　勝巳	778
180	東京	都立羽村特別支援学校	6/6	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・東京支部	谷　宗一郎	20

No.	都道府県	主　催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
181	徳島	県立徳島聴覚支援学校	6/7	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・徳島支部	角田　義道	14
182	群馬	県立富岡実業高等学校	6/7	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	河野　和亘	338
183	熊本	県立湧心館高等学校	6/7	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川　憲司	335
184	佐賀	県立神埼高等学校	6/10	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	松永　寿一郎	400
185	愛知	県立尾西高等学校	6/10	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・中部支部	山田　高弘	410
186	山口	県立熊毛北高等学校	6/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山口支部	宮崎　秀広	181
187	長崎	県立島原高等学校	6/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長崎支部	小林　輝彦	700
188	福岡	県立小郡高等学校	6/12	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	庄島　恭博	735
189	栃木	青藍泰斗高等学校	6/12	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・栃木支部	田村　鋭夫	440
190	長野	県佐久平総合技術高等学校臼田キャンパス	6/13	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・長野支部	金子　公一	400
191	大阪	府立登美丘高等学校	6/13	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	1,050
192	福島	小名浜高等学校	6/13	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	五味　正夫	203
193	長野	県高遠高等学校	6/13	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	平野　幸夫	920
194	長崎	県立島原工業高等学校	6/14	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野　法一	34
195	島根	県立松江養護学校	6/14	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・島根支部	伊藤　昇	26
196	岐阜	県立中津川工業高等学校	6/16	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋　義典	445
197	静岡	県立掛川東高等学校	6/17	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・中部支部	中村　秀美	720
198	愛知	聖カピタニオ女子高等学校	6/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	136
199	長野	長野県教育委員会事務局保健厚生課	6/17	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	平野　幸夫	130
200	長野	長野県教育委員会事務局保健厚生課	6/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子　公一	130
201	群馬	県立西邑楽高等学校	6/19	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野　賢次	750
202	千葉	県立船橋啓明高等学校	6/19	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・千葉支部	永山　栄司	1,028
203	山梨	県立山梨高等学校	6/19	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山梨支部	丹澤　英之	557
204	福島	県立郡山東高等学校	6/21	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	田代　秀之	880
205	岐阜	県立岐阜工業高等学校	6/21	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋　義典	87
206	島根	県立松江養護学校	6/21	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・中国支部	国好　雅夫	26
207	熊本	県立熊本聾学校	6/21	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川　憲司	66
208	埼玉	叡明高等学校	6/24	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	井平　高史	644
209	宮城	県古川工業高等学校	6/26	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・宮城支部	佐藤　陽	710
210	静岡	県立榛原高等学校	6/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・静岡支部	永谷　和俊	226
211	福島	県立安達東高等学校	6/27	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	岩城　仁	227
212	栃木	県立鹿沼東高等学校	6/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・栃木支部	田村　鋭夫	630
213	愛知	県立三谷水産高等学校	7/2	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	儀賀　弘巳	460
214	大阪	府立和泉総合高等学校定時制	7/2	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	95
215	茨城	県立潮来高等学校	7/3	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	野間口　拓実	134
216	秋田	秋田市立御所野学院高校	7/3	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	岩城　仁	127

No.	都道府県	主　催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
217	福島	桜の聖母学院中学校高等学校	7/4	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	田代　秀之	410
218	宮崎	県立都城商業高等学校	7/4	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	河野　輝夫	510
219	山口	県立周防大島高等学校	7/5	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山口支部	宮崎　秀広	200
220	山口	下関短期大学付属高等学校	7/5	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・中国支部	清水　英男	225
221	鹿児島	県立薩南工業高等学校	7/5	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・徳島支部	白濱　純洋	342
222	山口	県立岩国商業高等学校	7/9	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山口支部	宮崎　秀広	330
223	熊本	県立熊本農業高等学校	7/9	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	前野　哲郎	893
224	京都	京都鴨沂高等学校	7/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・京都支部	頭井　与志範	240
225	茨城	智学館中等教育学校	7/10	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	野間口　拓実	200
226	栃木	県立宇都宮北高等学校	7/10	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野　法一	320
227	新潟	県立有恒高等学校	7/10	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・新潟支部	梨本　信栄	154
228	大阪	岸和田市立産業高等学校	7/10	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	隅田　清	833
229	東京	都立石神井高等学校	7/12	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	北澤　一保	277
230	沖縄	美来工科高等学校	7/16	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里　稔	911
231	岡山	県立東岡山工業高校	7/16	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野　法一	40
232	千葉	県立京葉工業高等学校	7/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・千葉支部	永山　栄司	760
233	埼玉	県立皆野高等学校	7/16	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	森田　啓資	101
234	東京	都立神津高等学校	7/16	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	竹島　亜機雄	49
235	埼玉	川越市立川越高等学校	7/16	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	井平　高史	865
236	沖縄	県立辺土名高等学校	7/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里　稔	95
237	新潟	県立五泉高等学校	7/17	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・新潟支部	梨本　信栄	680
238	秋田	県立矢島高等学校	7/17	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	76
239	静岡	県立藤枝北高等学校	7/17	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	永田　泰裕	570
240	埼玉	県立桶川高等学校	7/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	小林　宗博	910
241	千葉	県立我孫子高等学校	7/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・千葉支部	永山　栄司	1,013
242	長野	県梓川高等学校	7/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・長野支部	金子　公一	400
243	沖縄	昭和薬科大学附属高等学校	7/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里　稔	211
244	埼玉	叡明高等学校	7/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	井平　高史	600
245	静岡	県立掛川特別支援学校御前崎分校	7/19	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	永谷　和俊	50
246	大阪	府立三国丘高等学校定時制	7/19	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	隅田　清	140
247	北海道	浜頓別高等学校	7/19	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・旭川支部	後藤　博行	140
248	北海道	知内高等学校	7/23	交通技術と社会のあり方（自動運転と紛争解決）	ITS Japan	佐藤　昌之	25
249	福島	県立川俣高等学校	7/26	交通技術と社会のあり方（自動運転と紛争解決）	ITS Japan	佐藤　昌之	52
250	山形	県立鶴岡養護学校	7/29	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉　保	63
251	東京	関東地区工業校長会	8/15	交通技術と社会のあり方（自動運転と紛争解決）	ITS Japan	佐藤　昌之	80
252	北海道	常呂高等学校	8/19	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・札幌支部	佐々木　純	43

No.	都道府県	主　催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
253	北海道	札幌丘珠高等学校	8/21	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	山本　洋平	302
254	愛知	県立稲沢高等学校	9/4	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	345
255	福岡	県立筑後特別支援学校	9/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福岡支部	庄島　恭博	132
256	宮崎	県立延岡しろやま支援学校	9/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・宮崎支部	竹内　真一	120
257	沖縄	県立沖縄工業高等学校	9/11	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里　稔	854
258	福島	県立新地高等学校	9/11	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	田代　秀之	52
259	福島	県立白河第二高等学校	9/12	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	田代　秀之	71
260	滋賀	県立彦根翔西館高等学校	9/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・滋賀支部	生田　真	330
261	埼玉	県立吹上秋桜高等学校	9/12	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	小澤　純	400
262	秋田	県立角館高等学校定時制	9/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	36
263	京都	府立工業高等学校	9/17	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野　法一	37
264	大阪	関西大学北陽高等学校・中学校	9/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	511
265	佐賀	県立牛津高等学校	9/18	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	新冨　正昭	500
266	長崎	県立大村城南高等学校	9/19	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・長崎支部	小林　輝彦	490
267	熊本	県立人吉高等学校定時制	9/19	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・熊本支部	前川　憲司	9
268	熊本	県立八代農業高等学校	9/20	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川　憲司	247
269	宮城	県松山高等学校	9/20	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	岩城　仁	172
270	鹿児島	鹿児島情報高等学校	9/25	交通技術と社会のあり方（自動運転技術の現状と方向性）	NAC	西村　直人	100
271	滋賀	滋賀学園高等学校	9/25	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・滋賀支部	生田　真	197
272	熊本	県立人吉高等学校五木分校	9/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川　憲司	34
273	栃木	県立鹿沼高等学校	9/27	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	大崎　栄一	750
274	沖縄	沖縄県立宮古工業高等学校	10/1	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野　法一	21
275	島根	県立松江工業高等学校定時制	10/1	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・島根支部	伊藤　昇	57
276	広島	県立海田高等学校定時制	10/2	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・中国支部	清水　英男	31
277	高知	県立四万十高等学校	10/2	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・高知支部	本田　清治	70
278	大阪	府立箕面東高等学校	10/2	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	479
279	秋田	県立雄物川高等学校	10/2	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	260
280	佐賀	佐賀県立太良高等学校	10/2	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・佐賀支部	下岡　忠司	183
281	大阪	りんくう翔南高等学校	10/3	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	240
282	岡山	岡山市立岡山後楽館高等学校	10/9	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岡山支部	建部　拓	457
283	宮崎	県立日南高等学校	10/10	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・宮崎支部	竹内　真一	380
284	大阪	府立堺工科高等学校定時制	10/17	高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・大阪事務所	松本　貴幸	10
285	福島	県立清陵情報高等学校	10/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	田代　秀之	860
286	滋賀	県立草津東高等学校	10/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・滋賀支部	生田　真	1,100
287	福岡	大牟田高等学校	10/23	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	庄島　恭博	400
288	秋田	県立大曲農業高等学校太田分校	10/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡　彰	58

No.	都道府県	主　催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
289	福岡	県立伝習館高等学校	10/25	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	庄島　恭博	600
290	東京	都立総合工科高等学校	10/26	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	道家　謙太郎	479
291	鹿児島	喜界高等学校	11/6	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・鹿児島支部	原山　大器	139
292	愛知	県立国府高等学校	11/8	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	611
293	愛知	県立安城高等学校	11/11	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・愛知支部	寺本　浩	95
294	沖縄	県立知念高等学校	11/11	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里　稔	1,048
295	兵庫	県立星陵高等学校	11/12	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野　法一	20
296	大阪	東大阪大学柏原高等学校	11/13	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	石井　義久	250
297	神奈川	川崎市立高津高等学校定時制	11/13	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	竹島　亜機雄	47
298	茨城	県立牛久高等学校	11/15	高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・茨城支部	山中　進	19
299	神奈川	県立瀬谷養護学校	11/20	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	池田　幸平	28
300	神奈川	県立瀬谷養護学校	11/20	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	池田　幸平	38
301	大阪	大阪市立第二工芸高等学校	11/21	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野　芳久	120
302	宮城	県柴田農林高等学校	11/28	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	平島　正	78
303	奈良	県立山辺高等学校	11/30	高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・奈良事務所	上田　正治	13
304	茨城	県立下館第一高等学校	12/2	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	村上　重隆	269
305	福岡	県立筑前高等学校	12/3	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	佐藤　勇夫	1,270
306	三重	県立四日市工業高等学校	12/7	交通技術と社会のあり方（自動運転と紛争解決）	ITS Japan	佐藤　昌之	75
307	山形	県立新庄南高等学校金山校	12/11	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉　保	24
308	北海道	苫小牧工業高等学校定時制	12/12	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部	加藤　昇	103
309	愛媛	県立松山北高等学校中島分校	12/12	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・四国支部	安部　忠弘	70
310	徳島	県立徳島中央高等学校	12/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・徳島支部	角田　義道	241
311	神奈川	県立伊勢原高等学校定時制	12/16	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・神奈川支部	池田　幸平	80
312	鹿児島	県立鹿児島南高等学校	12/16	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・鹿児島支部	白濱　純洋	940
313	沖縄	県立那覇工業高等学校	12/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里　稔	631
314	鹿児島	県立大島北高等学校	12/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・鹿児島支部	原山　大器	115
315	沖縄	県立宮古工業高等学校	12/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里　稔	172
316	千葉	県立千葉工業高等学校	12/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・千葉支部	柳田　洋	800
317	茨城	県立結城特別支援学校	12/19	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	横尾　修一	60
318	東京	都立第五商業高等学校定時制課程	12/24	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	村上　重隆	40
319	滋賀	県立国際情報高等学校	1/15	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野　法一	50
320	宮崎	県立都城商業高等学校	1/16	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・宮崎支部	竹内　真一	510
321	栃木	文星芸術大学附属高等学校	1/16	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	河野　和亘	36
322	兵庫	県立洲本実業高等学校	1/24	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野　法一	37
323	北海道	福島商業高等学校	2/4	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・函館支部	中者　善元	28
324	神奈川	県立瀬谷養護学校H	2/5	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・神奈川支部	池田　幸平	18
325	神奈川	県立瀬谷養護学校L	2/5	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	池田　幸平	20
326	東京	都立科学技術高等学校	2/13	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野　法一	217
327	茨城	県立水戸農業高等学校	2/19	高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・関東支部	山中　進	29
328	福岡	県立修猷館高等学校	2/20	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	大坪　航平	800
交通社会教育計							123,008
自動車技術教育計							1,420
総合計							124,428

【資料２】令和元年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況

（敬称略）

１）秋田

日時/場所		10/3　13:00～14:30　秋田県自動車会議所　　4F　大会議室		
出席者	来賓	秋田県教育庁　高校教育課　指導班	指導主事	根守　潤
	学　校 関係者	秋田県立秋田工業高等学校	教頭	佐藤三雄
		同上	教諭	今　幸喜智
		秋田県立由利工業高等学校	教頭	向川俊弘
		同上	教諭	鈴木　孝
		秋田県立大曲工業高等学校	校長	佐藤隆志
		同上	教諭	佐々木和美
		秋田県立男鹿工業高等学校	校長	今川　拡
		同上	教諭	高松文仁
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会　秋田県支部	支部長	三浦廣巳
		(一社)日本自動車販売協会連合会　秋田県支部	常務理事	佐々木俊幸
		(一社)秋田県　自動車整備振興会	常務理事	安藤良秋
		秋田県　軽自動車協会	会長	佐藤　功
		同上	参与	藤田　栄
		(一社)日本自動車連盟　秋田支部	事務所長	飯野由一郎
		(一社)日本自動車販売協会連合会　秋田県支部	係長	柏原　歩
		同上	係長	高橋朗子
		同上	主任	田名部美紀子
		(公財)日本自動車教育振興財団	部長	桐山　功
	マスコミ	日刊自動車新聞社・秋田魁新報社		

２）山形

日時/場所		10/4　13:00～14:30　　パレスグランデール　本館2F　カーサ・デル・ソル		
出席者	来賓	山形県教育庁　高校教育課	課長	片桐寛英
		同上	指導主事	油井敏和
	学　校 関係者	山形県立山形工業高等学校	教諭	遠藤知也
		山形県立寒河江工業高等学校	教頭	熊坂　仁
		山形県立村山産業高等学校	校長	大山慎一
		同上	教諭	星川貴博
		山形県立酒田光陵高等学校	教諭	小山剛史
		山形明正高等学校	校長	佐藤佳彦
		同上	教諭	庄司優治
		創学館高等学校	副校長	池田弘幸
		同上	教諭	山口大介
		羽黒高等学校	校長	牧　静雄
		同上	教諭	田村　隆
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会　山形県支部	支部長	小関眞一
		同上	専務理事	鏡　道宏
		(一社)山形県　自動車整備振興会	専務理事	佐藤光芳
		(一社)日本自動車連盟　山形支部	事務所長	荒井　博
		(一社)日本自動車販売協会連合会　山形県支部	シニアマネージャー	高内義幸
		同上	事務局次長	高橋志穂
		(公財)日本自動車教育振興財団	部長	桐山　功
	マスコミ	日刊自動車新聞社・山形新聞社		

（敬称略）

3）群馬

日時/場所		10/15　13:00～14:30　　ホテルラシーネ新前橋　　3F　百合の間		
出席者	来賓	群馬県教育委員会　高校教育課　教科指導係	指導主事	山岸　太郎
	学　校 関係者	群馬県立前橋工業高等学校	校長	二渡　諭司
		同上	教諭	入山　巌
		群馬県立高崎工業高等学校	校長	天田　敏明
		同上	教諭	金澤　阿都佐
		群馬県立新田暁高等学校	教諭	植木　利明
		群馬県立太田工業高等学校	校長	三芝　功一
		同上	教諭	河井　崇平
		群馬県立渋川工業高等学校	校長	竹之内　裕
		同上	教諭	神澤　直紀
		群馬県立渋川工業高等学校　定時制	教諭	中井　雅彦
		群馬県立藤岡工業高等学校	校長	久保田　満
		同上	教諭	久保田　聖
		群馬県立館林商工高等学校	教諭	吉井　重貴
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会　群馬県支部	専務理事	星野　朗
		同上	課長	吉田　太
		(一社)群馬県自動車整備振興会	専務理事	真秀　和正
		(一社)日本自動車連盟　群馬支部	事務所長	吉川　徹
		(公財)日本自動車教育振興財団	常務理事	有賀　潔
	マスコミ	日刊自動車新聞社・上毛新聞社		

4）高知

日時/場所		10/16　13:00～14:30　　高知県自動車会館　2F 会議室		
出席者	来賓	高知県教育委員会事務局　高等学校課	課長補佐	山岡　晶
		同上	指導主事	土方聖志
	学　校 関係者	高知県立高知工業高等学校	教諭	三浦洸平
		高知県立須崎総合高等学校	教頭	中野達也
		同上	教諭	戸田博万
		高知県立宿毛工業高等学校	校長	北村晋助
		同上	教諭	池内　忠
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会 高知県支部	支部長	西山忠利
		同上	専務理事	秋山教二郎
		高知県 軽自動車協会	専務理事	上田直成
		(一社)日本自動車連盟 高知支部	事務所長	出野　育
		同上	推進課長	泉　幸郎
		(一社)日本損害保険協会　四国支部	事務局長	菊池宏明
		(一社)日本自動車販売協会連合会 高知県支部	経理総務	野村真理
		(公財)日本自動車教育振興財団	部長	桐山　功
	マスコミ			

5）徳島

日時/場所		10/17　13:00～14:30　(一社)徳島県自動車整備振興会　2F 大会議室		
出席者	来賓	徳島県教育委員会　学校教育課	指導主事	宮田善夫
	学　校 関係者	徳島県立阿南光高等学校	校長	西　裕治
		同上	教諭	山口　稔
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会 徳島県支部	支部長	藤村　実
		同上	専務理事	武田耕二
		(一社)徳島県 自動車整備振興会	専務理事	平野隆司
		徳島県 軽自動車協会	専務理事	藤野芳久
		(一社)日本自動車連盟 徳島支部	事務所長	濱田大司
		(一社)日本自動車販売協会連合会 徳島県支部	総務部	生塩　梓
		(公財)日本自動車教育振興財団	部長	桐山　功
	マスコミ	徳島新聞社		

（敬称略）

6）佐賀

日時/場所		10/17　13:00～14:30　　ホテルグランデはがくれ　　2F　脊振の間		
出席者	来賓	佐賀県教育庁　学校教育課　高等学校指導グループ	指導主事	馬場　光弘
	学　校 関係者	佐賀県立有田工業高等学校	教　頭	東福　昌勝
		同上	教諭	川内　滋裕
		敬徳高等学校	校　長	立石　琢磨
		同上	教諭	川原　直次
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会 佐賀県支部	支部長	前田　博憲
		同上	専務理事	本村　修紹
		佐賀県 軽自動車協会	会　長	畑島　幸博
		(一社)日本自動車連盟 佐賀支部	事務所長	飯盛　武史
		(一社)日本自動車販売協会連合会 佐賀県支部	総務部長	納富　直樹
		(公財)日本自動車教育振興財団	部　長	山本　実
	マスコミ	日刊自動車新聞社		

7）香川

日時/場所		10/18　13:00～14:30　　リーガホテルゼスト高松　　4F　クリスタル		
出席者	学　校 関係者	香川県立高松工芸高等学校	校長	川井秀哉
		同上	教諭	福井一仁
		香川県立坂出工業高等学校	校長	谷岡敏大
		同上	教諭	長尾景虎
		香川県立多度津高等学校	教頭	琢磨雅人
		同上	教諭	中尾文隆
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会 香川県支部	支部長	本多武治
		同上	専務理事	一宮軌善
		(一社)香川県 自動車整備振興会	専務理事	鍋島省三
		(一社)日本自動車連盟　香川支部	事務所長	渡邊泰介
		(一社)日本損害保険協会　四国支部	課長代理	小塚照夫
		(一社)日本自動車販売協会連合会 香川県支部	総務課長代理	綱谷裕子
		(公財)日本自動車教育振興財団	部長	桐山　功
	マスコミ	四国新聞社　日刊自動車新聞社社		

8）愛媛

日時/場所		10/23　13:00～14:30　愛媛県自動車会館　　2F　大会議室		
出席者	来賓	愛媛県教育委員会事務局　指導部　高校教育課	指導主事担当係長	國久保　浩二
	学　校 関係者	愛媛県立新居浜工業高等学校	校長	一色　俊宏
		同上	教諭	肱川　大記
		愛媛県立松山工業高等学校	教諭	山口　秀樹
		愛媛県立吉田高等学校	教諭	西田　哲
		新田高等学校	校長	永井　博
		同上	教諭	日野　隆士
		松山聖陵高等学校	教諭	石﨑　保隆
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会　愛媛県支部	支部長	岡　豊
		同上	専務理事	竹葉　晃
		(一社)愛媛県自動車整備振興会	会長	日野　利一
		(一社)日本自動車連盟　愛媛支部	事務所長	岡林　宏行
		(公財)日本自動車教育振興財団	常務理事	有賀　潔
	マスコミ	日刊自動車新聞社		

（敬称略）

９）山梨

日時/場所		10/29　13:30～15:00　　山梨県自動車販売店会館　2F会議室		
出席者	来賓	山梨県教育庁　高校教育課	主幹・指導主事	村田　繁
	学　校 関係者	山梨県立韮崎工業高等学校	校長	跡部和男
		同上	教諭	赤池直紀
		山梨県立甲府工業高等学校	教諭	内田瑞樹
		山梨県立峡南高等学校	校長	飯嶋清二
		同上	教諭	網野　進
		山梨県立甲府城西高等学校	校長	永田典弘
		同上	教諭	渡邉　博
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会　山梨県支部	支部長	佐々木宏明
		同上	専務理事	興石光彦
		同上	総務部長	遠藤　聡
		(一社)山梨県　自動車整備振興会	専務理事	石原美千老
		(一社)日本自動車連盟　山梨支部	事務所長	道場　明
		(公財)日本自動車教育振興財団	専務理事	上橋義弘
	マスコミ	日刊自動車新聞社		

１０）新潟

日時/場所		11/1　13:00～14:30　　新潟東映ホテル　　2F 朱鷺の間		
出席者	来賓	新潟県教育庁　高等学校教育課	指導主事	一本鎗 裕
	学　校 関係者	新潟県立新潟工業高等学校	校長	霜鳥孝幸
		同上	教諭	渡邊和博
		新潟県立巻総合高等学校	教諭	赤川　聡
		新潟県立新津工業高等学校	教頭	藤澤　満
		同上	教諭	小熊幸成
		新潟県立新発田南高等学校	校長	大湊卓郎
		新潟県立長岡工業高等学校	教諭	渡邉幸弘
		新潟県立新潟県央工業高等学校	教諭	和田　正
		新潟県立佐渡総合高等学校	教諭	渋谷　剛
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会 新潟県支部	支部長	遠藤佳彦
		同上	専務理事	小林正美
		(一社)新潟県 自動車整備振興会	専務理事	石沢龍哉
		新潟県 軽自動車協会	専務理事	大野紀男
		(一社)日本自動車連盟 新潟支部	事務所長	坂入隆之
		(一社)日本自動車販売協会連合会 新潟県支部	管理部課長	小林大成
		同上	管理部	佐藤　蓮
		(公財)日本自動車教育振興財団	部長	桐山　功
	マスコミ	日刊自動車新聞社		

１１）大分

日時/場所		11/1　13:00～14:30　　レンブラントホテル大分　2F　久住の間		
出席者	来賓	大分県教育庁　高校教育課	指導主事	佐藤賢治
	学　校 関係者	大分県立日出総合高等学校	教諭	脇屋和夫
		大分県立大分工業高等学校	校長	原　勇人
		同上	教諭	坂本信之
		大分県立津久見高等学校	教頭	渕野敬三
		同上	教諭	大久保康成
		大分県立日田林工高等学校	教頭	馬場徹朗
		同上	教諭	大冨忠洋
		大分県立中津東高等学校	教諭	今村　太
		大分県立宇佐産業科学高等学校	校長	橋本武晴
		同上	教諭	中畑憲二
		大分高等学校	理事長・校長	小山康直
		同上	教諭	平尾耕一
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会　大分県支部	支部長	橋本　仁
		同上	専務理事	弥田達美
		(一社)大分県自動車整備振興会	事務局長	藤原淳史
		大分県軽自動車協会	専務理事	河島英八郎
		(一社)日本自動車連盟　大分支部	事務所長	川述利文
		(公財)日本自動車教育振興財団	常務理事	有賀　潔
	マスコミ	日刊自動車新聞社・大分合同新聞社・テレビ大分・大分放送・大分朝日放送		

（敬称略）

１２)鹿児島

日時/場所		11/5　13:00～14:30　鹿児島サンロイヤルホテル　3F 梅の間		
出席者	来賓	鹿児島県教育庁　高校教育課	参事	中島靖治
	学　校 関係者	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	教頭	田中耕一郎
		同上	教諭	今吉裕二
		鹿児島県立頴娃高等学校	教諭	伊地知健一
		鹿児島県立曽於高等学校	教頭	竹元美穂
		同上	教諭	牧野隆宇
		鹿児島情報高等学校	校長	新納武彦
		同上	教諭	橋之口健志
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会　鹿児島県支部	支部長	諏訪秀治
		同上	専務理事	町田昇二
		(一社)鹿児島県　自動車整備振興会	専務理事	淵脇一臣
		(一社)日本自動車連盟　鹿児島支部	事務所長	大隣徹志
		(一社)日本自動車販売協会連合会　鹿児島県支部	総務部	加治木愛理
		(公財)日本自動車教育振興財団	専務理事	上橋義弘
	マスコミ	日刊自動車新聞社・南日本新聞社・南日本放送・鹿児島テレビ放送・鹿児島放送		

１３)宮崎

日時/場所		11/6　13:00～14:30　宮崎観光ホテル　東館2F 大虹の間		
出席者	来賓	宮崎県教育庁　学校政策課　産業教育担当	指導主事	松浦宗孝
	学　校 関係者	宮崎県立日向工業高等学校	校長	倉岡　正
		同上		上田雅史
		鵬翔高等学校	校長	川﨑基宏
		同上		金丸正治
		都城東高等学校	校長	ブライアン・ウィー
		同上		福元達郎
		同上		小坂英毅
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会　宮崎県支部	支部長	佐土嶋恒夫
		同上	専務理事	中武光博
		同上		田村謙治
		(一社)宮崎県　自動車整備振興会	専務理事	甲斐保紀
		(一社)日本自動車連盟　宮崎支部	事務所長	有馬嗣祝
		(一社)日本損害保険協会　九州支部	事務局長	木舟作楽
		(公財)日本自動車教育振興財団	専務理事	上橋義弘
	マスコミ	日刊自動車新聞社・宮崎放送		

１４)長崎

日時/場所		11/14　13:00～14:30　ホテルセントヒル長崎　出島（1階）		
出席者	学　校 関係者	長崎県立長崎工業高等学校	校長	梅野　剛
		同上	教諭	前川　明
		長崎県立島原工業高等学校	校長	蒲川　俊浩
		同上	教諭	渕上　大輔
		長崎県立佐世保工業高等学校	校長	長池　紀英
		同上	教諭	岡本　航平
		佐世保実業高等学校	教諭	久保　寿伸
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会 長崎県支部	支部長	円田　浩司
		同上	専務理事	平　新一郎
		(一社)長崎県 自動車整備振興会	専務理事	神田　安一
		長崎県 軽自動車協会	専務理事	佐竹　晃介
		(一社)日本自動車連盟 長崎支部	事務所長	松原　啓之
		(一社)日本自動車販売協会連合会 長崎県支部	総務課長	真田　隆
		(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本　実
	マスコミ	NBC長崎放送・日刊自動車新聞社・長崎新聞社・西日本新聞社		

（敬称略）

１５）福岡

日時/場所		11/20　13:00～14:30　　ソラリア西鉄ホテル福岡　　８F　彩雲　（花）		
出席者	学　校 関係者	福岡県立苅田工業高等学校	校長	浦野　浩二
		同上	教諭	渡邊　正紀
		福岡県立小倉工業高等学校	教諭	桑本　雅生
		福岡県立戸畑工業高等学校	校長	逸見　明久
		同上	教諭	西崎　光良
		福岡県立八幡工業高等学校	教諭	青影　一隆
		福岡県立三池工業高等学校	教頭	隈　政博
		同上	教諭	中野　祐貴
		福岡県立八女工業高等学校	教諭	吉武　宏三
		福岡県立鞍手竜徳高等学校	副校長	吉迫　暢洋
		同上	教諭	森　和嘉
		福岡市立博多工業高等学校	教諭	木戸　健人
		真颯館高等学校	校長	伊藤　孝文
		豊国学園高等学校	校長	今村　勝人
		同上	教諭	成松　郁美
		飯塚高等学校	教諭	角田　武弘
		筑紫台高等学校	教諭	吉野　貴幸
		祐誠高等学校	教頭	中村　敬祐
		同上	教諭	金納　弘奇
		希望が丘高等学校	教頭	峯　潤二
	協議会 関係者	（一社）日本自動車販売協会連合会　福岡県支部	支部長	金野　誠
		同上	専務理事	三浦　俊一
		同上	業務部 部長	桜井　良一
		（一社）福岡県　自動車整備振興会	専務理事	栗山　繁敏
		福岡県軽自動車協会	専務理事	大山　整二
		（一社）日本自動車連盟　福岡支部	事務所長	内海　敏行
		（公財）日本自動車教育振興財団	常務理事	有賀　潔
	マスコミ	西日本新聞・日刊自動車新聞社		

１６）熊本

日時/場所		11/27　13:00～14:30　　熊本ホテルキャッスル　2階キャッスルホール		
出席者	来賓	熊本県教育庁　教育指導局　高校教育課	審議員	松坂　秀男
	学　校 関係者	熊本県立御船高等学校	校長	粟谷　雅之
		同上	教諭	高宮　利久
		熊本県立水俣高等学校	校長	米納　康志
		同上	教諭	皆吉　貴文
		熊本県立熊本工業高等学校	副校長	野崎　康司
		同上	教諭	藤本　真一
		熊本県立玉名工業高等学校	校長	末廣　克郎
		同上	教諭	西牟田　彰
		熊本県立小川工業高等学校	校長	原田　茂
		同上	教諭	竹尾　範史
		熊本県立八代工業高等学校	校長	江藤　義英
		同上	教諭	藤井　圭祐
		熊本県立天草工業高等学校	校長	吉塚　治生
		同上	教諭	吉田　博司
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会　熊本県支部	支部長	齊藤　直信
		同上	専務理事	川畑　幸広
		(一社)熊本県　自動車整備振興会	専務理事	緒方　勝行
		熊本県軽自動車協会	専務理事	児玉　久光
		(一社)日本自動車連盟　熊本支部	事務所長	鬼塚　義忠
		(一社)日本自動車販売協会連合会　熊本県支部		犬飼　未央
		(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本　実
	マスコミ	熊本朝日放送・くまもと県民テレビ・熊日広告社・熊本日日新聞社・日刊自動車新聞社		

（敬称略）

１７）沖縄				
日時/場所		12/5　10:30～12:00　　沖縄県立美里工業高等学校　　1階　会議室		
出席者	学　校 関係者	沖縄県立沖縄工業高等学校	校長	比嘉　淳
		同上	教諭	新垣　栄樹
		沖縄県立美来工科高等学校	校長	宮城　淳
		同上	教諭	宮城　政則
		沖縄県立那覇工業高等学校	校長	大城　栄三
		同上	教諭	上原　忠彦
		沖縄県立南部工業高等学校	校長	宮城　哲夫
		同上	教諭	金城　健栄
		沖縄県立宮古工業高等学校	校長	金城　透
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会　沖縄県支部	支部長	野原　朝昌
		(一社)日本自動車販売協会連合会　沖縄県支部	専務理事	平良　幸生
		(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本　実
	マスコミ			

１８）長野				
日時/場所		12/11　13:00～14:30　　ホテルメトロポリタン長野　　3F 志賀		
出席者	学　校 関係者	長野県上田千曲高等学校	教諭	川島國裕
		長野県駒ケ根工業高等学校	教諭	林　厚志
		長野県飯田OIDE長姫高等学校	教諭	吉田　悟
	協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会 長野県支部	副支部長	塚田哲郎
		同上	専務理事	五明利雄
		(一社)長野県 自動車整備振興会	専務理事	吉澤定幸
		(一社)日本自動車販売協会連合会 長野県支部	総務係	村山裕美
		同上	総務係	関　美咲
		(公財)日本自動車教育振興財団	部長	桐山　功
	マスコミ	日刊自動車新聞社		

令和元年度事業報告附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 日本自動車教育振興財団